

平成28年度 事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成28年度事業報告

<日本広告業協会の事業目的と活動体制>

平成28年の「日本の広告費（電通発表）」は、6兆2,880億円、前年比101.9%と、5年連続で増加した。低調な国内消費、円高株安傾向に伴う企業業績の低下、テロや世界的な保護主義の台頭など下押し懸念があったものの、景気は穏やかに拡大し、「リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック」、「伊勢志摩サミット」インターネット広告のさらなる拡大などマーケティング活動の活発化により、通年で前年比101.9%となった。

また、経済産業省の動態統計においても平成28年の広告業の売上げは、前年比102.6%であった。

このような経済環境の中、当協会は、「会員に共通する利益を図るため、広告業の健全な発達と広告活動の改善向上に関する事業を行い、併せてわが国経済の発展と国民生活の向上に寄与すること」を目的に、一般社団法人として5年目を迎えた平成28年度は、広告業界の共通課題である「広告の活性化」「広告業界の活性化」に向けて会員社のための共益事業をより一層効率的に推進し、新たな取り組みも実施した。

また、政府の働き方改善を受けて、12月、広告業界の健全な労働環境の構築に向け、理事長・副理事長の直轄組織となる「特別委員会」を発足し、広告関係団体との協議・連携を進めながら、広告業界の働き方改善の取り組みを開始した。

当協会は、理事会を最高執行機関とし、「協会の運営」と「事業活動」を進めており、事業活動は大別して「広告と広告業のPR」、「教育と研究」、「取引合理化関係」があり、運営委員会、特別委員会と9つの事業委員会が対応した。

1 協会の運営

平成28年度の会員社の動勢は、入会4社退会6社で、平成29年3月31日現在の会員社数は144社となった。平成28年5月31日付で理事5名が退任したため、平成28年5月31日開催の定時総会で理事6名を選出し、新理事長と新副理事長を各1名選定した。

また、平成28年度定時総会以降に退任した理事は3名、監事は1名で、年度末の理事総数は30名、監事は2名となった。

入会資格審査委員会は、入会申請4社の資格審査を行った。

法務委員会では、昨年引き続き消費者契約法の見直しに関する広告法規制の動きに、広告・報道関係9団体とともに対応した。

また、景品表示法をテーマに、「広告法務セミナー」を関係団体と東京・大阪にて開催した。

「土地差別調査問題」から発生した人権問題に関連した「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」の周知も継続的に行った。

「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」は、日本アドバタイザーズ協会／日本アド・コンテンツ

制作協会／オンライン事業者／日本広告業協会会員社等各ステークホルダーにオンライン運用に向けての課題・状況の情報共有をすすめ、説明会によるオンライン運用の周知に努めるとともに、自由参入領域・協調領域等の「全般的ワークフロー」の整備と進展に努めた。

財務委員会は、平成27年度決算や平成28年度補正予算及び決算見込等について、審議した。

吉田秀雄記念賞選考委員会関係では、平成28年度定時総会記念式典において第51回の贈賞、並びに第52回の同賞の選考を行った。

役員選挙管理委員会は、2年ごとに行われる役員改選の選挙運営について検討した。

新設した正副理事長直轄「特別委員会」は、広告会社の労働環境を把握するため、会員社へのアンケートを実施、また、日本アドバタイザーズ協会と協議を行った。

理事会は7回、運営委員会は6回開催した。委員会、小委員会等は156回、プロジェクトは6回、研究会・セミナー・講演会を32回開催した。

2 広告と広告業のPR

PR委員会は、「広告」を正しく理解してもらうために「広告の広告：(コピー) 広告は星の数ほどあるけれど、運命の出会いはある。」を展開した。広告原稿の制作はPR委員会委員会社が担当し、日本新聞協会、日本雑誌協会、日本雑誌広告協会の会員社、電通報の協力を得て広告を掲載した。協会事業の広報については、会員社、広告関係団体、広告専門紙・誌に適宜周知を図るとともにホームページに掲載した。

PR委員会に所属する「広告の機能と役割」研究小委員会は、7月に「消費を牽引するキーパーソン～情報の収集・発信行動からイマドキの市場の達人を探る～」をテーマに研究発表会を開催した。

会報編集委員会は、協会報「JAAAレポート」を毎月1日に発行し、協会活動や広告界の新たな動き等を報告した。

3 教育と研究

教育セミナー委員会は、4月に「第44回新入社員教育セミナー」を、11月に「第22回フォローアップセミナー(新人対象)」を開催した。

第30回「広告と人権」セミナーは、12月に「芝浦屠場の差別と歴史」をテーマに開催し、また同月新たに「英語学習法セミナー」を開催した。

懸賞論文委員会は、5月の定時総会記念式典において第45回懸賞論文入賞・入選者を表彰すると共に入賞・入選作品集として「JAAAレポート」臨時増刊号を発行した。

また第46回懸賞論文の募集は、7月13日、エントリー説明会を実施し、480編の応募を得た。全応募作品から、「論文」テーマ「愛される広告」においては、金賞、銀賞、銅賞を、「私の言いたいこと」〈一般部門〉、〈新人部門〉においては、入選作を選出し、3月に発表した。

海外交流委員会は、「ココロを動かす、行動を促すコミュニケーションの進化を探る」をテーマに第43回海外広告研修団を9月にアメリカへ派遣し、企業研修とアドバタイジングウィークのイベントに参加

し、研修成果の報告は「J A A Aレポート」臨時増刊号として11月30日に発行した。また、シンガポールにおいて9月に開催されたスパイクスアジア2016にも研修ツアーを実施、成果報告を「J A A Aレポート」1月号に掲載した。当協会が加盟するアジア広告業協会連盟の活動では、アジア太平洋（A PAC）エフィー・アワードの審査員推薦等協力した。

クリエイティブ委員会は、賞実行小委員会による運営の中で、「2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー」1名、「メダリスト」7名を選出した。また、クリエイティブ研究会を7月から11月にかけて全国6地区で2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者を講師として、また3月には「いま、クリエイティブ・ディレクションの定義が変わる～Chance～」をテーマに開催し、広告関係者や学生等のクリエイティブの資質向上に努めた。著作権小委員会は、「CM表現クレーム©11の対応原則」リーフレットを用いた、広告におけるクレーム問題説明会を実施した。制作取引小委員会は、制作現場での健全な労働環境のあり方について検討した。

広告問題研究委員会は、経済産業省からの業界情報の提供依頼に協力した。また、同委員会に所属する環境小委員会は「環境モラルアップを促すインナー向けプロモーション」の一環として第5回の「環境モラルアップポスター」を募集、入賞作品を10月に選出・発表し、会員全社に配布した。

4 取引合理化関係

取引合理化委員会・メディア委員会・クリエイティブ委員会に所属する、情報システム小委員会、営業課題検討小委員会、デジタル特別委員会、テレビ小委員会、著作権小委員会、制作取引小委員会の6委員会からなる横断プロジェクト「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」も活発に活動した。活動の要点は以下の通り。

[1] 取引合理化委員会

(1) 取引合理化小委員会

- 「広告会社のための下請法ガイドブック」改訂版発行と説明会の実施

(2) 情報システム小委員会

- 情報システムアンケートの実施
- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への協力

(3) ビジョン小委員会

- 「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞—Innovative Communication Award (ICA)」の第3回発表と、第4回の募集と審査

(4) 営業課題検討小委員会

- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への協力

[2] メディア委員会

(1) メディア委員会

- 日本民間放送連盟第12回「日本放送文化大賞」に審査員を派遣

- 日本民間放送連盟・営業委員会との情報交換

(2) デジタル特別委員会

- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」の運営・実施
- 「CM素材ファイル運用促進プロジェクト（アドミッション・フェーズ2）」でCM登録認証サービス（CMAS）の運営と業界標準化の推進

(3) テレビ小委員会

- 字幕付きCMに関する検討―「字幕付きCM普及推進協議会」普及推進活動
- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への協力
- 有事の際のテレビCMの対応検討
- 今後の視聴率データについての研究
- 「放送確認書」の誤記載調査の実施
- 「動画広告フォーラム」の検討と実施
- 共通コード管理センターに関する対応

(4) ラジオ小委員会

- ラジオCM素材のオンライン運用の推進
…オンライン運用に向けた「ラジオCM素材搬入基準」の確定と、運用システム「Radio Pos」の周知活動
…ラジオCM運行ワーキンググループと日本民間放送連盟との合同検討
- ラジオCMの活性化に対するヒアリングの実施と検討

(5) 新聞小委員会

- 新聞広告掲載確認（モニタリング）調査の実施
- 日本新聞協会からの「新聞広告掲載状況報告」の受領
- 新聞広告に関わる業界の課題の検討
N-PDFの推進／NSACへの協力／「全国メディア接触・評価調査」データの共同研究

(6) 雑誌小委員会

- 「雑誌広告デジタル送稿推進協議会」関連
…雑誌純広告「オンライン送稿」の普及促進
- 雑誌広告の課題抽出と検討
…雑誌広告価値検討プロジェクト-M-VALUE調査結果の検証

(7) 交通広告小委員会

- 交通広告セミナーの実施
- 日本鉄道広告協会、関東交通広告協議会（11社局）との連携
…交通広告の共通指標策定に向けた実証調査の実施

(8) インターネット広告小委員会

- オンライン広告の認知効果の共通指標づくりの推進
- アドテック東京2016におけるJAAAワークショップの提供
- 会員社向けインターネット広告セミナーの実施

(9) メディア調査研究小委員会

- 「民放地上デジタル放送視聴環境 世帯数調査」データの利用促進
- メディアデータの調査手法、効果基準の情報収集及び研究
 - …BS機械式視聴率・デジタル広告視聴率について
 - …オンライン広告の認知効果の共通指標について、等
- 「現行視聴率調査にかかわる検討会」（日本アドバイザーズ協会、日本民間放送連盟、当協会で構成）への参加

[3] クリエイティブ委員会

[1] 小委員会の活動

(1) 著作権小委員会

- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への協力

(2) 制作取引小委員会

- 広告会社の制作取引全般に関する検討
- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への協力
- 「働き方改革」に関する検討

以上、当協会は関係団体との相互理解と協力関係の下、様々な課題への対応の活動を行ってきた。会員各社には、この状況へのご理解・ご支援を頂くと同時に、協会活動への積極的なご参加をお願いしたい。

平成28年度 事業報告附属明細書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1

協会の運営

【1】平成28年度定時総会

当協会が一般社団法人に移行して5年目の定時総会を以下の通り開催した。

- 日 時：平成28年5月31日（火）13時30分～16時30分
- 会 場：パレスホテル東京・2階・葵

【定時総会】

1. 開会
1. 議長選任
1. 議事録署名人選任
1. 議事

〔報告事項〕

1. 平成27年度事業報告の件
2. 平成28年度事業計画並びに収支予算報告の件

〔決議事項〕

- 第1号議案 平成27年度決算報告承認の件
- 第2号議案 平成28年度役員選任の件

1. 閉会

定時総会は会員代表者148名の内、当日出席70名、代理出席11名を含む委任状の提出68名、合計138名が出席とみなされ、定款第17条及び第18条により定時総会は有効に成立した。

報告事項の説明の後、決議事項として、第1号議案「平成27年度決算報告承認の件」を資料の通り承認し、第2号議案「平成28年度役員選任の件」では、慣例に従い事前に第291回理事会にて選出された役員候補者（理事6名）の選任を承認し、閉会した。

※本総会をもって退任した役員は以下の通り。

- | | |
|-------|------------------|
| 高嶋 達佳 | 理事長（電通） |
| 長沼孝一郎 | 副理事長（アサツー ディ・ケイ） |
| 櫻井 正伍 | 理事（協和企画） |
| 小暮 和之 | 理事（ジェイアール東日本企画） |
| 大塚 徹哉 | 理事（第一通信社） |
| 島田 誠一 | 顧問（日本広告業協会） |

【第292回理事会】

総会閉会后、別室にて新役員による理事会を開催、成田純治副理事長を議長に選任し、以下の審議を行い決議した。

1. 理事長・副理事長の選定の件

以下の通り決定した。

- 理事長 石井 直 (電通 代表取締役 社長執行役員)
- 副理事長 植野 伸一 (アサツー ディ・ケイ 代表取締役社長・グループCEO)

なお、副理事長の順序は、規定により以下の通り。

- ① 成田 純治 副理事長 平成18年7月就任
- ② 岩井 秀一 副理事長 平成25年5月就任
- ③ 植野 伸一 副理事長 平成28年5月就任

2. 会長・相談役の推薦の件

理事会は、高嶋氏を会長、俣木氏を相談役に推薦、理事長が委嘱することとした。

- 会長 高嶋 達佳 (電通 会長)
- 相談役 俣木 盾夫 (電通 相談役)

3. 運営委員会・特別委員会委員等に関する件

平成27年度委員が継続して就任するが、退任した長沼副理事長が担当した運営委員会委員長・財務委員会委員長は、植野副理事長が就任、退任した櫻井理事が担当した広告問題研究委員会の担当理事・運営委員会委員・吉田秀雄記念賞選考委員会委員については、神田橋理事の就任が決定した。

- 運営委員会委員長／財務委員会委員長 植野 伸一 副理事長
- 広告問題研究委員会担当理事／運営委員会委員／吉田秀雄記念賞選考委員会委員
神田橋 治 理事

4. その他

「役員報酬は、無報酬であるが、常勤理事は従前の通り」と確認した。

【理事長あいさつ】

石井理事長が、「ただいま理事会において新理事長に選任されました、石井でございます。当協会は数々の先輩の理事そして監事の皆様のお力をもって運営をしております。ぜひ皆様のご協力をこれからもお願いしたいと思っております。

私の理事長就任に伴い、現理事長の高嶋さんが会長に、現会長の俣木さんが相談役に就任されました。お二人には大変長い間当協会にご尽力いただき、ありがとうございました。

現副理事長の成田さん、岩井さんには引き続き職を務めていただき、新たに植野さんが副理事長に就任していただくことで、大変心強く思っております。今後ともよろしく願いいたします。

デジタルの進展により我々を取り巻く環境が大変変わってきております。この10年、そしてこれからの10年は我々が経験したことのない未曾有の変化が我々の業界にも来るだろうと考えます。そういった中で我々もしっかり対応すべく、変わっていかなくてはなりません。同時に変わるべきでないものが一つあると思います。それは我々の仕事の原点の一つであるステークホルダーであります、クライアント、メディア、ひいては生活者、社会に対してどういったいいことができるか、役に立てるかということが変わらない、どのような変化の中でも大事なことだと思います。当協会もそういったことを念頭に置いて、活動していきたいと思っております。

折しも熊本に地震がありました。まだ2ヵ月しか経っていない状況で、復興はこれからだと思います。また、そして5年経ちました東日本大震災、まだこれからも復興が続くと思います。こういうことを含めて社会をよくするために、少しでもこの業界、当協会が微力ながら役に立つということを念じて、務めを果たしてまいりたいと思います。

よろしく願い申し上げます。」とあいさつを行った。

【記念式典】

第45回懸賞論文表彰式

2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞表彰式

第51回吉田秀雄記念賞贈賞式

審査経過報告を

懸賞論文は、丹羽信一担当理事より

クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞は、中田安則担当理事より

吉田秀雄記念賞は、内藤好徳選考委員長より行った。

表彰状は、高嶋会長から贈呈した。

なお、記念式典からは広告主、媒体社、関係団体等広告関係者が出席し、総勢556名となった。

【懇親パーティー】

懇親パーティーは、今回も東北・熊本地方の食材を使用した震災復興支援メニューを用意し、懇談した。

【2】平成28年度会員代表者懇談会

会員代表者の情報交換・交流の場として、以下の通り開催した。

- 日 時：平成28年12月12日（月）17時～19時30分
- 会 場：帝国ホテル 本館中2階「光の間」
- プログラム：理事長挨拶
記念講演「イノベーション 2020」
講 師 二宮 清純（スポーツジャーナリスト）
着席ブッフエスタイルにて会食・懇談
- 参加者：92名

【3】理事会

【1】理事会の開催

(1) 第291回理事会（平成28年4月26日）

①業務執行状況報告

②決議事項

- ◇平成27年度決算報告承認の件
 - ◇平成28年度（補正）収支予算案承認の件
 - ◇平成28年度役員候補者承認の件
 - ◇平成28年度定時総会招集通知承認の件
 - ◇入会申請に関する件
 - ◇利益相反取引報告承認の件
- 以上、全て原案通り承認された。

(2) 第292回理事会（平成28年5月31日）

①決議事項

- ◇理事長・副理事長の選定の件
 - ◇会長・相談役の推薦の件
 - ◇運営委員会・特別委員会委員等に関する件
- 以上、全て原案通り承認された。

(3) 第293回理事会（平成28年7月12日）

①業務執行状況報告

②決議事項

- ◇利益相反取引報告承認の件
- 以上、全て原案通り承認された。

(4) 第294回理事会（平成28年9月13日）

①業務執行状況報告

②決議事項

- ◇入会申請に関する件
 - ◇第5回「環境モラルアップポスター」入賞作品承認の件
 - ◇利益相反取引報告承認の件
- 以上、全て原案通り承認された。

(5) 第295回理事会（平成28年11月15日）

①業務執行状況報告

②決議事項

- ◇平成28年度上期収支決算報告承認の件
 - ◇入会申請に関する件
 - ◇利益相反取引報告承認の件
- 以上、全て原案通り承認された。

(6) 第296回理事会（平成29年2月7日）

①業務執行状況報告

②決議事項

- ◇第52回吉田秀雄記念賞受賞者承認の件

◇正副理事長直轄「特別委員会」設置承認の件

◇利益相反取引報告承認の件

以上、全て原案通り承認された。

(7) 第297回理事会 (平成29年3月14日)

①業務執行状況報告

②決議事項

◇第46回懸賞論文入賞・入選者承認の件

◇2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者承認の件

◇第4回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」受賞承認の件

◇平成28年度事業報告案承認の件

◇平成29年度事業計画案承認の件

◇平成29年度収支予算案承認の件

◇平成29年度定時総会開催承認の件

◇利益相反取引報告承認の件

以上、全て原案通り承認された。

[2] 理事長・副理事長会議

(1) 5月度書面持ち回り理事長・副理事長会議

◇平成28年度業務執行理事体制について

(2) 11月度理事長・副理事長会議

◇広告会社の働き方について

(3) 正副理事長直轄「特別委員会」の設置・開催

■委員会の開催

平成28年11月15日、当協会理事長・副理事長等による正副理事長会議にて、広告会社の働き方について、関係団体と連携をし、業界一体となり、健全な労働環境の構築に向けて活動を行うことを決議し、審議機関として、正副理事長直轄「特別委員会」を発足した。

当協会は、広告ビジネスの健全化を業界として共に図っていくために、各広告関係団体と相談・協議を進めながら、時代にそった働き方の改善を図っていく。

12月20日、委員会体制と今後の検討課題について、意見交換を行い、日本アドバタイザーズ協会「働き方改善ワーキングチーム」との合同会議を行った。

● 日本広告業協会「特別委員会」(仮称) メンバー

委員長 今泉 智幸 (博報堂 取締役常務執行役員)

委員 殿村 良彦 (アサツー ディ・ケイ 人材開発本部本部長)

楠山 昌生 (大広 執行役員)

橋爪恒二郎 (電通 ビジネス統括局長)

沼澤 忍 (電通 事業企画局サービスラインマネジメント部専任次長)

竹林 真人 (博報堂DYメディアパートナーズ/博報堂DYデジタル取締役CMO)

■日本アドバイザーズ協会との合同会議

- 日 時：平成28年12月20日（火）16時30分～17時30分
- 会 場：日本アドバイザーズ協会・会議室
- 参加者：[日本アドバイザーズ協会「働き方改善ワーキングチーム」]
 委員長 名久井貴信（味の素 クリエイティブ統括部長）
 委 員 多治見 豊（花王 作成部門統括）
 重野 謙介（サントリービジネスエキスパート 宣伝部クリエイティブグループ課長）
 入倉 昇（第一三共ヘルスケア マーケティング部広告宣伝グループ長）
 鐘ヶ江哲郎（資生堂 宣伝・デザイン部ジャパンクリエイティブ室長チーフクリエイティブ
 ディレクター）
 小林 淳（リクルートコミュニケーションズ コミュニケーションデザイン部クリエイティ
 ブセンター1グループマネジャー）

12月22日、対外的なニュースリリース「広告業界の労働環境／働き方改善に向けた取り組みについて」を発表した。

1月13日、本委員会の「検討領域の在り方」「正式名称」等検討し、第296回理事会に諮り、承認を得た。

1月26日、当協会会員社に向けて「過重労働に関するアンケート」の協力を依頼、回答社の集計、整理を行い、制作取引小委員会委員を対象に広告制作に関わる働き方に関するアンケートを1月に実施、検討した。

2月9日、厚生労働省から文書『「過労死等ゼロ」実現に向けた緊急要請書』を受領、会員社及び全国広告業団体連絡会議25団体にメールで周知した。2月16日、広告関係団体連絡会（23団体）にて、緊急要請書を配布し、情報共有を図った。

■厚生労働省『「過労死等ゼロ」実現に向けた緊急要請書』について

2月27日、厚生労働省より、平成26年11月に施行された「過労死等防止対策推進法（平成26年法律第100号）」に基づく長時間労働削減に向けた「働き方改革」の取り組みについて、周知を図りたい旨、説明があった。

1) 時間外・休日労働のための労働基準法第36条に基づく協定締結の必要性、2) 労働者の健康確保を組織的に推進するメンタルヘルス対策の推進、3) 取引上の納期の適正化や受発注時の商習慣改善など、要望説明があった。

説明者：厚生労働省 大臣官房審議官（労働条件政策担当） 土屋 喜久
 厚生労働省 労働基準局労働条件政策課企画調整専門官 西本 直哉

■日本アドバイザーズ協会との意見交換

3月1日、日本アドバイザーズ協会に「広告主との仕事で困ったこと、または依頼したいこと」など含め、「特別委員会」アンケート結果説明を行った。

- 参加者：名久井 貴信（日本アドバイザーズ協会「働き方改善ワーキングチーム」リーダー／味の素 クリエイティブ統括部長）
 出水 泰弘（日本アドバイザーズ協会「働き方改善ワーキングチーム」／トヨタマーケティングジャパ

ン メディア・総括室メディアグループマネージャー)

鈴木 信二 (日本アドバタイザーズ協会 専務理事)

今泉 智幸 (日本広告業協会 正副理事長直轄「特別委員会」委員長)

橋爪恒二郎 (日本広告業協会 正副理事長直轄「特別委員会」委員)

沼澤 忍 (日本広告業協会 正副理事長直轄「特別委員会」委員)

村井 知哉 (日本広告業協会 専務理事)

■日本アド・コンテンツ制作協会との「特別委員会」との意見交換

3月30日、日本アド・コンテンツ制作協会と、それぞれの働き方改革に関する取り組みについて、意見交換を行った。

● 参加者：[日本アド・コンテンツ制作協会 (JAC)]

岩井 健二 (日本アド・コンテンツ制作協会 理事長／太陽企画 代表取締役社長)

笹貫 善雄 (日本アド・コンテンツ制作協会「働き方改革特別委員会」委員長／AOIPro 専務執行役員)

吉田 弘 (日本アド・コンテンツ制作協会「働き方改革特別委員会」副委員長／ハット 代表取締役会長)

薬師寺 衛 (日本アド・コンテンツ制作協会 専務理事)

[3] 褒章受章

平成28年秋の叙勲褒章にて、東海林 隆元副理事長が広告業界の発展の顕著な功績により旭日中綬章を受章した。

◇旭日中綬章 東海林 隆 (博報堂 元代表取締役社長)

[4] 理事・監事の辞任

■理事

◇平成28年5月31日付

長沼孝一郎 (アサツー ディ・ケイ)

櫻井 正伍 (協和企画)

小暮 和之 (ジェイアール東日本企画)

大塚 徹哉 (第一通信社)

高嶋 達佳 (電通)

◇平成29年3月31日付

猪瀬 洋一 (電通ヤング・アンド・ルビカム)

岡田 徹 (フロンテッジ)

片木 康行 (マクキャンエリクソン)

■監事

◇平成29年3月31日付

正呂地英男 (電通東日本)

【5】理事の選任

◇平成28年5月31日付

- 植野 伸一 (アサツー ディ・ケイ)
- 山田 淳史 (協和企画)
- 原口 宰 (ジェイアール東日本企画)
- 巴 一寿 (第一通信社)
- 石井 直 (電通)
- 南 晋一郎 (電通アドギア)

【4】監査

【1】会計検査

監事会社の経理担当者による会計検査を下記の通り実施した。

- 平成28年 4月12日…平成27年度決算報告
- 平成28年10月24日…平成28年度上期収支決算報告

【2】監査

監事による監査を下記の通り実施した。

- 平成28年 4月13日…平成27年度決算報告並びに業務執行状況報告
- 平成28年10月26日…平成28年度上期収支決算報告並びに業務執行状況報告

【5】運営委員会 (委員長:長沼孝一郎/植野 伸一)

【1】委員の交替

長沼孝一郎 (アサツー ディ・ケイ)

→ 植野 伸一 (同社)

櫻井 正伍 (協和企画)

→ 神田橋 治 (TOMOE)

石井 直 (電通)

→ 高田 佳夫 (同社)

【2】委員長の交替

長沼孝一郎 (アサツー ディ・ケイ)

→ 植野 伸一 (同社 代表取締役社長・グループCEO)

【3】委員会の開催

◇平成28年 4月19日…第291回・第292回理事会提出議案について

◇平成28年 7月 5日…①委員の交替について

②第293回理事会提出議案について

- ◇平成28年 9月 6日…第294回理事会提出議案について
- ◇平成28年11月 8日…第295回理事会提出議案について
- ◇平成29年 1月31日…第296回理事会提出議案について
- ◇平成29年 3月 7日…第297回理事会提出議案について

[4] 直轄の委員会・プロジェクト

(1) 入会資格審査委員会 (委員長:内藤 好徳)

①委員の交替

沢田 邦彦 (博報堂)

→ 西村 治 (同社 取締役執行役員)

②委員会の開催

- ◇平成28年 8月 3日 入会申請社の資格審査について
- ◇平成28年10月12日 入会申請社の資格審査について
- ◇平成29年 3月22日 入会申請社の資格審査について

(2) 法務委員会 (委員長:永江 禎)

①委員の交替

近藤 啓司 (マッキンゼーエリクソン)

→ 木村 知生 (同社 法務室マネージャー)

②広告法務セミナー

関連団体と共催で以下の通り開催した。

■東京開催

- 日 時：平成28年7月29日 (金) 14時～17時5分
- 会 場：秋葉原コンベンションホール
- プログラム：「景品表示法の最近の運用状況と違反事例について」
講 師 大元 慎二 (消費者庁 表示対策課長)
「平成27年度のJARO広告審査の概況と見解事例」
講 師 吉田 巖 (日本広告審査機構 審査部)
- 共 催：6団体=日本広告審査機構、日本アドバタイザーズ協会、日本アド・コンテンツ制作協会、日本広告制作協会、日本インタラクティブ広告協会、日本広告業協会
- 参加者：303名

■大阪開催

- 日 時：平成28年8月5日 (金) 14時～17時5分
- 会 場：電通 関西支社 12階大ホール
- プログラム：「景品表示法の最近の運用状況と違反事例について」
講 師 大元 慎二 (消費者庁 表示対策課長)
「平成27年度のJARO広告審査の概況と見解事例」
講 師 黒岩 達哉 (日本広告審査機構 審査部長)

- 共 催：8団体=大阪広告協会、大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会、日本広告審査機構、日本アドバタイザーズ協会、日本アド・コンテンツ制作協会、日本広告制作協会、日本インタラクティブ広告協会、日本広告業協会

- 参加者：96名

③消費者契約法の見直しに関する対応について

1) 広告・報道関係9団体に対するヒアリングについて

6月29日、内閣府消費者委員会事務局より、広告業界と広告実務に対するヒアリング要請があり、意見交換会を実施。あらためて、消費者委員会再開の際には事業者側の理解促進をはかるための改善と、広告業務についての一層の理解を求めた。

- 日 程：平成28年6月29日(水)
- 場 所：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- 参加団体：内閣府消費者委員会事務局、経済産業省商務情報政策局、日本アドバタイザーズ協会、全日本広告連盟、日本民間放送連盟、日本新聞協会、日本雑誌協会、日本雑誌広告協会、日本インタラクティブ広告協会、日本屋外広告業団体連合会、日本広告業協会

2) 消費者契約法専門調査会委員の派遣等について

平成28年、「消費者委員会消費者契約法専門調査会」は、業界団体からの意見要望に応え、当協会より永江法務委員長を同調査会委員に任命、10月28日、永江委員は、業協側のプレゼンテーション説明として「『勧誘要件の見直し』についての意見」を発表した。内容は、「悪質な事業者とは明確に一線を画す多くの事業者による消費者への有益な情報伝達たる『正当な広告活動』が、大きくかつ不当に制限をすることになりかねない規制内容には、強く反対する」というもの。

平成29年2月10日、広告・報道関係9団体連絡会にて、その後の「消費者委員会消費者契約法専門調査会」の動きと、「クロレラ最高裁」判決について、意見交換をした。「クロレラ最高裁」判決は、必ずしも特定の者に向けた働きかけでなければ「勧誘」に含まれないわけではない、という解釈で、個別の契約締結の意思の形成に直接に影響を与えているとは考えられない「広告」も、消費者契約法による規制の議論の影響が今後予想される。

④大阪府の人権啓発活動への協力について

大阪府より、「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」の啓発推進月間(10月)に向け、啓発ポスターの協会名義記載についての協力依頼があり、これを了承、その啓発パンフレット等の周知・展開を行った。

(3)「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」(リーダー：外山善太)

①プロジェクト会議の開催

■第18回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

4月20日、「自由参入領域事業者に提示するガイドライン」「協調領域事業者(広告EDIセンター)のシステムベンダー選定結果」「日本民間放送連盟全社説明会アンケートサマリー」「CMAS(CM登録認証サービス)に格納されるCMメタデータの二次利用」について、情報共有

し、各委員会で検討することとした。

■第19回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

5月25日、「4月28日民業合同CM運行ワーキンググループ会議報告」「5月18日第2回自由参入領域事業者向け説明会報告」「JAAA内検討状況内容」「全国の広告関係団体への周知状況報告」について、情報共有した。

■第20回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

6月16日、「6月24日第3回自由参入領域事業者向け説明会」「民業合同CM運行ワーキンググループ検討報告」「オンライン対応民放連会員社アンケート集計」について、情報共有した。

■第21回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

9月14日、「7月26日・28日日本民間放送連盟全社説明会報告」「CM素材オンライン運用検討プロジェクト上半期検討報告」について、情報共有した。また、当協会並びに日本アドバタイザーズ協会会員社向け説明会について、検討した。

■第22回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

1月16日、「オンライン運用周知進捗報告」について、情報共有した。また、「情報共有セミナー内容」「平成28年度事業報告案並びに、平成29年度事業計画案」について、検討した。

■第23回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

3月8日、「大阪・名古屋開催『情報共有セミナー』並びに『JAC・JPPA／独立U局対象情報共有セミナー』報告」「素材搬入事業者のサービス説明会」等について、情報共有をした。

②オンライン事業者向け説明会の開催

協調領域を担う広告EDIセンターと共催で、自由参入領域希望事業者向け（12社）に説明会を実施した。

■第1回 平成28年4月28日（木）

- 内 容：全体スケジュール及び概要説明

■第2回 平成28年5月18日（水）

- 内 容：民業調整事項進捗共有及び通信方式概要説明

■第3回 平成28年6月24日（金）

- 内 容：日本広告業協会及び広告EDIセンターからのガイドライン提示

③「テレビCMのオンライン運用」最新状況説明会の開催

■「テレビCMオンライン運用に関する民放連会員社説明会」

[大阪開催]

- 日 時：平成28年7月26日（火）14時～16時
- 会 場：ホテルメルパルク大阪・3階「ボヌール」
- プログラム：1) 挨拶

日本民間放送連盟 CM運行WG主査

石井 明夫（TBSテレビ）

- 2) 送受信サーバ等の仕様について

日本広告業協会 情報システム小委員会副委員長

奥村 卓也(電通)

日本広告業協会 デジタル特別委員会委員長

外山 善太(博報堂DYメディアパートナーズ)

日本広告業協会 CM運行WGサブリーダー

小林 順一(電通)

3) オンラインCM搬入暫定規準(案)について

日本民間放送連盟 CM運行WG技術TGリーダー

井村 紀彦(フジテレビジョン)

- 参加者：73社130名

[東京開催]

- 日 時：平成28年7月28日(木) 14時～16時
- 会 場：全国都市会館・2階大ホール
- プログラム：大阪開催と同様
- 参加者：76社143名

■ [日本広告業協会会員社対象]

- 日 時：平成28年9月16日(金) 10時30分～11時45分
- 会 場：日比谷コンベンションホール
- プログラム：1) 「CMオンライン運用の仕組みと2017年10月導入に向けたスケジュール」説明
プロジェクト リーダー
外山 善太(博報堂DYメディアパートナーズ/デジタル特別委員会委員長)
- 2) 今後の対応について
プロジェクト サブリーダー
橋爪恒二郎(電通/営業課題検討小委員会委員長)

- 参加者：155名(32社)

■ [日本アドバイザーズ協会会員社対象]

- 日 時：平成28年9月21日(水) 13時30分～14時30分
- 会 場：日本アドバイザーズ協会・会議室
- プログラム：1) 開会挨拶
日本広告業協会 テレビ小委員会委員長
桜井 徹哉(博報堂DYメディアパートナーズ)
- 2) 「CMオンライン運用の仕組みと2017年10月導入に向けたスケジュール」説明
プロジェクト リーダー
外山 善太(博報堂DYメディアパートナーズ/デジタル特別委員会委員長)
- 3) 閉会挨拶
プロジェクト サブリーダー
橋爪恒二郎(電通/営業課題検討小委員会委員長)

- 参加者：58名(44社)

広告主からは、テレビCMのオンライン運用により、時間短縮とコスト削減、さらにテレビCMのメディア価値の向上がいかにはかれるか、期待する発言が多くあった。

*日本アドバイザーズ協会より、同セミナーの「月刊JAA」11月号(11月15日発行)の原稿依頼があり、対応した。

④民放局への情報共有会の開催

■日本民間放送連盟 東京支社情報交流会 [民放連 会長室主催]

- 日 時：平成28年11月11日(金) 11時50分～12時10分
- 内 容：外山プロジェクトリーダーより、9月21日、日本アドバイザーズ協会電波委員会セミナー概要を説明。
- 参加者：112名

■民放東京支社長会 [幹事社 読賣テレビ (民放連 総務部担当)]

- 日 時：平成28年11月30日(水) 12時50分～13時10分
- 内 容：外山プロジェクトリーダーより、放送局内のワークフローやシステム構成等、放送局向けの概要を説明。
- 参加者：107名

■テレビCMオンライン運用開始に関する情報共有セミナー(大阪)

- 日 時：平成29年1月20日(金) 13時30分～15時
- 会 場：電通関西支社・12階大ホール
- プログラム：1) 開会挨拶
日本広告業協会 テレビ小委員会副委員長
高野 與平(アサツー ディ・ケイ)
- 2) 「テレビCMオンライン運用開始までの背景と経緯」説明
CM素材オンライン運用検討プロジェクト リーダー
外山 善太(博報堂DYメディアパートナーズ/デジタル特別委員会委員長)
- 3) 「CMオンライン運用実務作業について」
CM運行ワーキンググループ サブリーダー
小林 順一(電通)

- 参加者：165名

■テレビCMオンライン運用開始に関する情報共有セミナー(名古屋)

- 日 時：平成29年2月13日(月) 13時30分～15時
- 会 場：中京テレビ・プラザC
- プログラム：1) 開会挨拶
日本広告業協会 テレビ小委員会委員長
桜井 徹哉(博報堂DYメディアパートナーズ)
- 2) 「テレビCMオンライン運用開始までの背景と経緯」説明
CM素材オンライン運用検討プロジェクト リーダー
外山 善太(博報堂DYメディアパートナーズ/デジタル特別委員会委員長)

3) 「CMオンライン運用実務作業について」

CM運行ワーキンググループ サブリーダー

小林 順一(電通)

- 参加者：270名

■日本アド・コンテンツ制作協会・日本ポストプロダクション協会加盟社対象

- 日時：平成29年3月2日(木) 10時～11時30分、13時30分～15時
- 会場：電通銀座ビル・8階・会議室
- プログラム：「テレビCMオンライン運用の概要と10月導入開始について」

プロジェクト リーダー

外山 善太(博報堂DYメディアパートナーズ/デジタル特別委員会委員長)

プロジェクト サブリーダー

沼澤 忍(電通/制作取引小委員会委員長)

橋爪恒二郎(電通/営業課題検討小委員会委員長)

プロジェクト メンバー

小林 順一(電通/テレビ小委員会CM運行ワーキンググループサブリーダー)

- 参加者：157名

■日本民間放送連盟/独立U局対象

- 日時：平成29年3月8日(水) 14時15分～16時15分
- 会場：電通銀座ビル・8階・会議室
- プログラム：「テレビCMオンライン運用の概要と10月導入開始について」

プロジェクト リーダー

外山 善太(博報堂DYメディアパートナーズ/デジタル特別委員会委員長)

プロジェクト メンバー

奥村 卓也(電通/情報システム小委員会副委員長)

小林 順一(電通/テレビ小委員会CM運行ワーキンググループサブリーダー)

- 参加社：東京メトロポリタンテレビジョン/群馬テレビ/とちぎテレビ/テレビ埼玉/千葉テレビ放送/テレビ神奈川/岐阜放送/三重テレビ放送/びわ湖放送/京都放送/奈良テレビ放送/サンテレビジョン/テレビ和歌山

以上 13局

【6】特別委員会

【1】財務委員会(委員長:長沼孝一郎・植野 伸一)

(1) 委員の交替

長沼孝一郎(アサツー ディ・ケイ)

→ 植野 伸一(同社 代表取締役社長・グループCEO)

沢田 邦彦(博報堂)

→ 西岡 正紀(同社 取締役執行役員)

(2) 委員長の交替

長沼孝一郎(アサツー ディ・ケイ)

→ 植野 伸一(同社 代表取締役社長・グループCEO)

(3) 委員会の開催

同委員会を開催、以下の検討を行った。

◇平成28年4月15日

■平成27年度決算報告について

■平成28年度(補正)収支予算案について

◇平成29年2月28日

■平成28年度収支決算見込みについて

■平成29年度事務局人件費予算について

■平成29年度収支予算案について

[2] 吉田秀雄記念賞選考委員会(委員長:内藤 好徳)

(1) 委員の交替

櫻井 正伍(協和企画)

→ 神田橋 治(TOMOE 代表取締役社長)

沢田 邦彦(博報堂)

→ 西村 治(同社 取締役執行役員)

(2) 第51回吉田秀雄記念賞の贈賞

5月31日開催の平成28年度定時総会・記念式典において、内藤好徳委員長より選考経過報告が行われ、高嶋達佳元理事長より贈賞を行った。

◇個人賞 長沼孝一郎(アサツー ディ・ケイ 最高顧問)

◇グループ賞 該当なし

(3) 第52回吉田秀雄記念賞の選考

平成29年1月24日、同選考委員会を開催、第52回吉田秀雄記念賞に関し、推薦アンケートを参考に選考の結果、以下の通り受賞者を内定、第296回理事会承認を経て、5月31日開催の平成29年度定時総会・記念式典にて表彰することとした。

◇個人賞 中田 安則(読売広告社 代表取締役会長)

◇グループ賞 該当なし

[3] 役員選挙管理委員会(委員長:丹羽 信一)

(1) 平成29年度役員改選について

平成29年2月7日、同委員会を開催、平成29年度役員改選に関し、「役員選挙管理規程」に則り役員候補者選挙推薦数を確認し、スケジュールを以下の通り決定した。

◇役員候補者選挙推薦数

・理事 32名以内

- ・ 監事 3名以内
- ◇スケジュール
 - 3月31日(金) 選挙投票用紙発送
 - 4月17日(月) 投票締め切り(*17日消印有効)
 - 19日(水) 開票・集計
 - 選挙結果による役員候補者へ就任意向確認連絡
 - 26日(水) 第298回理事会にて役員候補者承認
 - 5月31日(水) 平成29年度定時総会にて決定

【7】会員社動向

【1】平成28年度会員登録による協会現勢(平成28年4月1日現在)

		<前年>
◇会員社数	146社	149社
◇会員社所属員総数	35,209名	35,059名
◇会員社総売上高(平成27年暦年)	4兆6,000億円	4兆4,310億円
	※売上高未回答会員社18社を除く	
◇平成27年日本の広告費(6兆1,710億円)に対する割合	74.5%	72.0%

【2】会員社社名変更

- ◇平成28年4月1日付
 - 株式会社 JTBコミュニケーションズ
 - 株式会社 JTBコミュニケーションデザイン
- ◇平成28年4月1日付
 - 株式会社 相鉄エージェンシー
 - 株式会社 横浜メディアアド
- ◇平成28年10月1日付
 - 株式会社 タンバリン
 - 株式会社 ハッピーアワーズ博報堂

【3】入会

- ◇平成28年5月1日付
 - 松竹ナビ株式会社
 - 株式会社 ビービーディオーージャパン
- ◇平成28年9月1日付
 - 株式会社 アドベル
- ◇平成28年11月1日付
 - 株式会社 ワン・トゥー・テン・デザイン

[4] 退会

◇平成28年9月30日付

株式会社 サーチアンドサーチ・ファロン

株式会社 東通メディア

◇平成29年3月31日付

株式会社 新弘社

東栄広告株式会社

株式会社 日経弘報社

メディカルクオール株式会社

2

広告と広告業のPR

[1] PR委員会 (担当理事: 鐘ヶ江輝久 委員長: 飯島 康裕)

[1] 委員の交替

佐々木光洋 (日本経済社)

→ 有馬 昌昭 (同社 経営企画室室次長)

西川淳一郎 (博報堂)

→ 足立 光弘 (同社 広報室広報グループシニア広報ディレクター)

[2] 委員長の互選

- 委員長: 飯島 康裕 (電通ヤング・アンド・ルビカム)

[3] 「広告の広告」によるPR活動

同委員会は、「広告」の理解促進活動として「広告の広告」を制作、日本新聞協会並びに日本雑誌協会・日本雑誌広告協会加盟社及び電通報の協力を得てPR活動を実施した。協会の広報については、ホームページによるタイムリーな広報活動を円滑に行った。また、協会事業に関しては、記者発表や、ニュースリリースの送付等効率的にPRを行った。

(1) 平成28年度「広告の広告」

■制作担当: 大 広

■コピー: 広告は星の数ほどあるけれど、運命の出会いはある。

70% OFF 最高水準

10年連続売上 第1位

お徳用パック 体脂肪が気になるあなたに

先進のナノテクノロジー搭載

OPEN! 大切な人へ

住宅展示場オープン 新フレーバー登場 ログミで選ばれ続けています

In Stores Now! 20%増量中 真心を込めた贈り物

おめでとうございます 現金お値引き

ポイント10倍

送料無料

新

初回お試し

リニューアルオープン 期間限定 特別価格

ありがとうございます。

広告は 星の数ほどあるけれど、
運命の出会いはきっとある。

JAAA
Japan Advertising Agencies Association
一般社団法人日本広告業協会

■掲載状況

- 新聞：日本新聞協会加盟社に、掲載を依頼
(期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日)
スペース：半5段・全1段・突出・半3段
掲載回数：3,401回 (70紙)
金額換算：626,117,000円
- 雑誌：日本雑誌協会・日本雑誌広告協会の協力を得て、掲載を依頼
(期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日)
スペース：縦 1 / 3頁
掲載回数：30回 (12誌)
金額換算：12,110,000円
- 電通報 (期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日)
スペース：全2段、全頁
掲載回数：全頁2回
金額換算：1,600,000円

(2) 平成29年度「広告の広告」

■制作担当：I&S BBDO

■コピー：「あなたの広告を出せるとしたら、何を伝えますか？ “広告” を考えよう」



(3) 協会の広報活動

①記者発表会の開催

平成29年3月14日、第297回理事会終了後、「第46回懸賞論文入賞・入選者」及び「2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者」の発表を行った。

<業界専門紙・誌対象>

日 時：平成29年3月14日(火) 15時45分

会 場：電通銀座ビル・8階・共用会議室

■「第46回懸賞論文入賞・入選者」発表

▶懸賞論文募集事業の意義について

担当理事 丹羽 信一(日本経済広告社 代表取締役社長)

▶選考経過報告

委員長 浜田 茂(読売広告社 R&D局局长)

▶受賞感想

金賞受賞者 竹内 好文(電通 マーケティングソリューション局ディレクター)

■「2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者」発表

▶クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の意義・選考経過報告

担当理事 中田 安則(読売広告社 代表取締役会長)

▶クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の意義・選考経過報告

委員長 能登 健裕(東急エージェンシー ソリューション本部クリエイティブ局局长SCD)

<一般紙対象>

平成29年3月14日、ニュースリリースを通信社、新聞社に送付した。

[4] 小委員会の活動

(1) 「広告の機能と役割」研究小委員会 (委員長: 松本 順)

① 委員の交替

望月 裕 (電通)

→ 村越 力 (同社 BCC電通総研主任研究員)

② 「広告の機能と役割」研究小委員会セミナー

本研究は、生活者の情報行動をより詳細に捉え、市場の達人の再定義、さらに市場を盛り上げるキーパーソンを探った。

- 日 時：平成28年7月25日 (月) 14時～16時
- 会 場：コートヤード・マリオット銀座東武ホテル 2階 櫻の間
- プログラム：講演「調査概要について～昨年度の振り返りと今年度の課題について～」

PR委員会「広告の機能と役割」研究小委員会 委員長

西村 泉 (大広 AD推進局ナレッジマネジメントグループチーフプロデューサー)

講演「消費を牽引するキーパーソン～情報の収集・発信行動からイマドキの市場の達人を探る～」

中野 香織 (駒沢大学 経営学部准教授)

- 参加者：77名 (40社)

なお、研究報告書の調査データは、会員社限定で当協会ホームページより利用できることとした。

③ 次期研究テーマと体制

専修大学経営学部の石崎 徹教授に企画・監修をいただき、若者のメディア接触実態と消費行動、その根底にある意識をさぐる調査研究を行うこととした。

■ 委員長・副委員長の互選

- 委員長：松本 順 (マッキンゼーエリクソン)
- 副委員長：田口 仁 (アサツーディ・ケイ)
- 副委員長：長沢 朋哉 (電通ヤング・アンド・ルビカム)

(2) ホームページ管理小委員会 (委員長: 飯島 康裕)

協会事業や業界情報を逐次情報発信を行った。

[2] 会報編集委員会 (担当理事: 内藤 好徳 委員長: 安齊 昇)

[1] 委員の交替

岩代 孝之 (博報堂)

→ 足立 光弘 (同社 広報室広報グループシニア広報ディレクター)

[2] JAAALレポートの発行

(1) 発行規模

- ①形態：B5判 表紙共24ページ
- ②発行日：毎月1日
- ③部数：4,600部
- ④配布先：会員社、各地の広告業協会、関係団体、海外の広告業協会、広告学会・大学広告研究会、広告専門業界紙・誌、官公庁

(2) 基本企画

- ビジュアル・トピックス 表2
- ひと・こと 1P
- 特集 2～9P
- Fresh Eye 若手広告人Talkシリーズ 10P
- 現代広告ビジネス用語の基礎知識 11P
- WORLDアドREPORT 12～13P
- 行正り香の業界食堂 14P
- ～人と企業のリアル接点～
- SHOWROOM&MUSEUM REPORTS 15P
- 広告関連法規シリーズ 16P
- 業界情報 17P
- 協会の活動レポート 18～19P
- INFORMATION 20～21P
- 今月のデータ&特集インデックス 表4

*平成28年度表紙デザイン/ I&S BBDO

(3) 特集企画

平成28年

- 4月号 「第三回広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞
—Innovative Communication Award— (ICA) 審査結果発表」
- 5月号 「クリエイティブ未来予想図～テクノロジーの進化が変えるもの/変えないもの～
—第74回JAAAクリエイティブ研究会—
「成熟社会と広告会社—競合相手は誰だ—」
- 6月号 「ネイティブ広告」
「二〇一七年度、テレビとラジオのオンライン運用開始に向けて」
- 7月号 「平成二十八年度定時総会報告」
- 8月号 「オリンピックとパラリンピック～リオから東京へ～」
「アドバタイジング・ウィーク (AW) 日本開催が、次にもたらす事」
- 9月号 「ネット疲れしていませんか？」
「進み過ぎた『ネットと人生の一体化』がもたらす悶絶の人生崩壊事情」

10月号 「デジタルサイネージ～現状とこれから～」

11月号 「バーチャルとリアル」

12月号 「アド^{ジョ}女のリアル～Message From AD-WOMAN～」

平成29年

1月号 「会長・理事長・副理事長『新春随想』」

2月号 「AI広告最前線」

3月号 「記念日は広告の役に立つ～これから注目される記念日など～」

3 教育と研究

【1】教育セミナー委員会 (担当理事: 桑原 常泰 委員長: 松浦 啓子)

【1】委員の補充

榎本 喜和 (メトロアドエージェンシー 総務局人事部長)

【2】第44回新入社員教育セミナー

2クラス編成で、新版「広告ビジネス入門」をテキストに、以下の通り開催した。

- 日程: 平成28年4月5日(火)～8日(金)…4日間: 9時30分～17時
- 会場: 機械振興会館
- 参加者: 144名(31社) [前回 159名(34社)]
- カリキュラム及び講師

<4月5日>

- 開講のあいさつ 桑原 常泰 担当理事 (東急エージェンシー 代表取締役社長)
- 日本広告業協会について/受講上の注意
小田 崇介 (日本広告業協会 事務局副参事)
- 基調講義 中馬 淳 (博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ人材開発戦略室室長)
- 営業 安田 陸朗 (読売広告社 第2アカウントユニット第9営業局局長代理)
- コミュニケーションプランニング
佐々木大補 (I&S BBDO プランニンググループコミュニケーションデザインチーフコミュニケーションディレクター)
- クリエイティブ 高田 聡子 (マックャンエリクソン 制作本部クリエイティブディレクター)

<4月6日>

- メディアプランニング 坪井 篤史 (電通 MCプランニング局メディア・プランニング室プランニング4部)
- 新聞 鈴木 正輝 (日本経済社 新聞雑誌局新聞第1部)

■雑誌 池田真理子(ジェイアール東日本企画 メディア・コンテンツ本部メディア局新聞・雑誌部部長)

■テレビ 喜島 朋人(アサツー ディ・ケイ 統合メディア営業推進本部統合メディア営業推進局第1統合メディア営業推進グループグループ長)

■ラジオ 斉藤 洋貴(電通 ラジオテレビ局ラジオメディア推進部)

<4月7日>

■インタラクティブメディア 加藤 勇樹(東急エージェンシー ビジネス創造センター第2インテグレートッドソリューショングループiメディア販売促進部スーパーバイザー)

■プロモーション 杉山 茂(オリコム ソリューションプランニング局プロモーションプランニング部ディレクター)

■OOH 鈴木 広嗣(三晃社 媒体局SP事業部副部長)

■広告関連法規 入江 友子(大広 総務局法務部チーフディレクター)

<4月8日>

■グループディスカッション
インストラクター 愛甲 知己(I&S BBDO コーポレートセンターヒューマンリソースグループディレクター)

金澤 直也(アサツー ディ・ケイ 人材開発本部専任局長)

松浦 啓子(オリコム 経営企画局シニアディレクター)

雑賀 啓介(三晃社 経営管理局総務人事部部長)

富川 隆(ジェイアール東日本企画 総務局次長兼人事部部長)

三栗谷信明(大広 人事局人事部部長)

増子 裕介(電通 人事局育成部部長)

澤田 桐智(東急エージェンシー 人事局人事企画部部長)

門田 昌晃(日本経済社 総務局人事部部長)

中馬 淳(博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ 人材開発戦略室室長)

小岩井由紀子(マクキャンエリクソン タレントマネジメント本部マネージャー)

高木 康志(読売広告社 人事局局長代理)

[3] 第22回フォローアップセミナー

4月開催の新社員教育セミナーの受講者を主体として、以下の通り開催した。

- 日程：平成28年11月15日(火)～16日(水) 9時30分～17時
- 会場：機械振興会館 地下2階 研修室
- 研修テーマ：屋外広告・プロモーションにおけるIndustry4.0の考察～今、世界で何が起きているか?から創造する明日の広告～
- 研修スタイル：講義、グループワーク
- 講師：川崎 日郎(オリコム OOHメディア本部メディア開発部長)
- 参加者：69名(12社)〔前回64名(12社)〕

[4] 第30回「広告と人権」セミナー

以下の通り開催した。

- 日 時：平成28年12月9日（金）16時～17時30分
- 会 場：銀座キレイが丘・5階・会議室
- テーマ：「芝浦屠場と差別の歴史」
- 講 師：栃木 裕（全国一般労働組合東京南部 全芝浦屠場労働組合委員長）
宮崎 勇氣（全国一般労働組合東京南部 全芝浦屠場労働組合中央執行委員 青年部 副部長）
- 参加者：80名

なお、「なくそう部落差別調査」大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例のパンフレットを配布した。

[5] 新規企画セミナーについて

当協会会員社向けの新たなセミナーとして、業務に必要な英語の勉強法を伝授する「英語学習のコツ」をテーマとしたセミナーを実施した。

①英語学習法セミナー

- 日 時：平成28年12月14日（水）14時～15時30分
- 会 場：電通銀座ビル・8階・会議室
- 講 師：増子 裕介（電通 人事局人材育成部長／教育セミナー委員会委員）
- 参加費：無料
- 定 員：37名（17社）

[6] 小委員会の活動

(1)「広告ビジネス入門」発行小委員会（委員長：中馬 淳）

①委員の交替

野出 朋子（I&S BBDO）

→ 高澤 正行（同社 メディアグループメディアビジネス推進メディアディレクター）

渋沢 浩幸（アサツー ディ・ケイ）

→ 戸嶋 次介（同社 人材開発局）

②「広告ビジネス入門」第21版の発行

平成28年3月15日、「広告ビジネス入門」第21版を以下の通り発行した。

◇版 形：A4判 222頁

◇印刷部数：4,000部

◇改訂点：・全項目において最新データに更新

・国際広告・SNSの現状を各章にて紹介・巻末に索引を新設

[7] 講師派遣

下記の通り講師を派遣した。

◇第36回OAAAクリエイティブ研究会

- 日 時：平成28年10月24日(月) 13時30分～15時
- 場 所：電通関西支社
- テーマ：「いま、ここを動かすクリエイティブ」
- 講 師：篠原 誠(電通/2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞者)
- 参加者：100名

◇平成28年度首都大学東京業界研究セミナー

- 日 時：平成29年1月12日(木) 17時～18時50分
- 場 所：首都大学東京 南大沢キャンパス1号館
- テーマ：広告業界研究
- 講 師：松浦 啓子(オリコム/教育セミナー委員会委員長)
- 参加者：39名

◇栃木県広告業協会・平成28年度研修会

- 日 時：平成29年2月22日(水) 14時30分～16時
- 場 所：栃木県総合文化センター
- テーマ：「いま、ここを動かすクリエイティブ」
- 講 師：篠原 誠(電通/2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞者)
- 参加者：200名

[2] 懸賞論文委員会 (担当理事：丹羽 信一 委員長：浜田 茂)

[1] 委員の交替

益田 一(アサツー ディ・ケイ)

→ 宇賀神貴宏(同社 コミュニケーションチャンネルプランニング本部専任局長)

井上 庸子(クオラス)

→ 浅井 雅彦(同社 コミュニケーションプランニング局デジタルマーケティング部プランニング
エキスパート)

天野 泰司(日本経済広告社)

→ 太古 益樹(同社 ソリューションデザイン本部第4プランニング局プロデューサー)

岡崎 茂生(フロンテッジ)

→ 鎌谷 友大(同社 ソリューション本部クリエイティブグループクリエイティブチームコピーライター)

伊東 裕貴(マクキャンエリクソン)

→ 半田 浩和(同社 戦略プランニング局プランニングディレクター)

[2] 第45回懸賞論文募集について

(1) 表彰式

- 日 時：平成28年5月31日(火) 14時30分(平成28年度定時総会・記念式典)

- 会 場：パレスホテル東京・2階・葵

*丹羽担当理事より審査経過報告、高嶋元理事長より表彰状授与

(2) 入賞・入選

◇「論文」＜課題： 広告が動く、動かす＞

金賞 1編 (1名)

銀賞 1編 (1名)

銅賞 1編 (1名)

◇「私の言いたいこと」

＜一般部門＞第1～7テーマのいずれか選択

入選

第1テーマ 1編 (1名) 第2テーマ 1編 (1名)

第3テーマ 1編 (1名) 第4テーマ 1編 (1名)

第5テーマ 1編 (1名) 第6テーマ 1編 (1名)

第7テーマ 1編 (4名 共同執筆)

＜新人部門＞テーマ： 自由

入選 3編 (3名)

(3) 入賞・入選作品集の発行 (JAAALレポート臨時増刊号No.722)

- 発行日：平成28年5月31日 (火)
 - 版 形：B5判 113ページ
 - 部 数：6,300部
 - 配布先：会員社、各地広告業協会、応募者、広告主、媒体社、関係団体、広告学会など
- *入賞・入選作品を協会ホームページにも掲載

[3] 第46回懸賞論文募集について

(1) 募集活動

平成28年6月1日、JAAALレポート6月号並びに協会ホームページに応募要項を発表するとともに、ポスター・チラシを会員社に送付し募集を開始し、9月30日に締め切った。

◇ポスター制作担当： 読売広告社

(2) 課題・テーマ

■『論 文』 課題：愛される広告

■『私の言いたいこと』

＜一般部門＞ (第1～7テーマのいずれかを選択)

第1テーマ/営業、アカウントマネジメント

第2テーマ/メディア、メディアプランニング・開発

第3テーマ/戦略プランニング、プロモーション、PR

第4テーマ/クリエイティブ

第5テーマ/テクノロジー、プラットフォーム、デジタルソリューション

第6テーマ/管理（総務、人事、教育、経理、システム、法務、広報、経営管理等）

第7テーマ/その他（第1～6テーマにあたらないもの）

<新人部門>（業界歴2年以内かつ応募時26歳まで）

テーマ/自由

(3) 「第46回懸賞論文」エントリー説明会の開催

以下の通り、応募促進のための説明会を開催した。

- 日 時：平成28年7月13日（水）14時～15時30分
- 会 場：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- テーマ：「第46回懸賞論文」エントリーについて
- プログラム：「エントリーに向けて」

講 師 益田 一（アサツー ディ・ケイ/元論文委員長）

「金賞 受賞報告」

講 師 日塔 史（電通/平成26・27年度「論文の部」受賞者）

- 参加費：無料
- 参加者：74名（18社）

(4) 応募数

				第46回		第45回	
				応募総数	社数	応募総数	社数
「論文」				52	7	83	9
私の言いたいこと				428	19	529	23
内 訳	一般部門	第1テーマ	営業、アカウントマネジメント	42	10	57	7
		第2テーマ	メディア、メディアプランニング・開発	30	4	38	6
		第3テーマ	戦略プランニング、プロモーション、PR	24	6	30	4
		第4テーマ	クリエイティブ	17	3	26	9
		第5テーマ	テクノロジー、プラットフォーム、デジタルリユース	25	5	13	6
		第6テーマ	管理	19	7	24	5
		第7テーマ	その他	27	4	64	7
			一般部門計	184	13	252	14
新人部門	自由課題		244	16	277	22	

(5) 審査

■ 審査スケジュール

<平成28年>

10月14日 「私の言いたいこと」（新人部門）…第一次審査開始…

11月17日 〃 第1回グループ審査会（Bグループ）

18日 〃 第1回グループ審査会（Cグループ、Dグループ）

11月 22日 〃 第1回グループ審査会（Aグループ）
「論文」「私の言いたいこと」（一般部門）…第一次審査開始…

<平成29年>

1月 10日 〃 第2回グループ審査会（Dグループ、Cグループ）
11日 〃 第2回グループ審査会（Bグループ）
12日 〃 第2回グループ審査会（Aグループ）
18日 第二次審査開始
3月 2日 最終合宿審査会（電通鎌倉研修所）
3日 〃
3月 14日 第297回理事会にて承認後、記者発表
5月 31日 平成29年度定時総会・記念式典にて表彰
並びにJ A A Aレポート臨時増刊号「第46回懸賞論文入賞・入選作品集」発行

■ 審査方法

評価基準は、「テーマ性」「独自性」「具体性」「表現力」等とし、第一次審査は審査員をA・B・C・Dの4グループに分けてそれぞれ審査を行い、第1回及び第2回グループ審査会にて第一次審査通過作品を選出する。

第二次審査は、第一次審査通過作品を全審査員で点数評価を行い、最終合宿審査会にて、合計得点と議論を行い、入賞・入選作品を選出する。

(6) 入賞・入選

①「論文」の部<課題：愛される広告>

☆金 賞

竹内 好文（電通 マーケティングソリューション局ディレクター）

「ブロックチェーンが、『愛される広告』の扉を開く『鍵』となる。」

☆銀 賞

堤 藤成（電通 プロモーション・デザイン局デジタルアクティベーション部シニア・クリエイティブ・マネージャー
／デジタルプランナー）

「シェアリングエコノミー時代に愛される、『かなえる広告』の新潮流—消費を煽る広告から、新たな“知”を生み出す広告へ—」

☆銅 賞

堀田 真哉（電通 マーケティングソリューション局ディレクショングループディレクター）

「勇敢な意思は、勇敢な広告となり、愛を生む。」

②「私の言いたいこと」

☆入 選

<一般部門（第1～7テーマのいずれかを選択）>

● 第1テーマ 営業、アカウントマネジメント

柳 恵理（大広 東京アクティベーションデザインビジネスユニット第6営業局第1部副部長）

「AI(人工知能)時代の営業スタイル」

- 第2テーマ メディア、メディアプランニング・開発

寺前 大輔(マクカンエリクソン 媒体本部業務推進局1部(IPG MEDIABRANDS/MAGNA GLOBAL))

「メディアプランの骨太なKPIが広告を救う」

- 第3テーマ 戦略プランニング、プロモーション、PR

山本 洋平(アサツー ディ・ケイ コミュニケーションチャンネルプランニング本部プランニングディレクター)

「HMOT時代に立ち向かう」

- 第4テーマ クリエイティブ

鶴川 将成(アサツー ディ・ケイ クリエイティブ本部第1クリエイティブ・ディレクション局コピーライター)

「ダブルスクリーン時代のコンテの1コマ目」

- 第5テーマ テクノロジー、プラットフォーム、デジタルソリューション

平嶋 雅(電通 第4営業局専任部長)

「LESSからWANTSへ ~欲求を生み出すIoTプラットフォームの実現」

- 第6テーマ 管理(総務、人事、教育、経理、システム、法務、広報、経営管理等)

橋本 真人(博報堂 PR戦略局総合プランニング一部シニアPRディレクター)

「健康長寿社会をリードする広告会社に必要なワークライフヘルスバランス」

- 第7テーマ その他(第1~6テーマにあたらないもの)

古平 陽子(電通 ビジネス・クリエーション・センター主任研究員)

「イノベーションを生む、“研究員”へ ~新しいステージに進むために必要な3つの力」

<新人部門 テーマ: 自由>

鹿毛絵梨花(読売広告社 クリエイティブ局第1CRルーム)

「ファンをつくれ~鹿児島実業高等学校男子新体操部に学ぶコミュニケーションの極意~」

水越 寛文(電通 マーケティングソリューション局ディレクション・グループストラテジック・プランナー)

「技術革新の起爆剤となるのは広告会社~技術そのものが広告会社の新しい商材となる時代へ~」

[3] 海外交流委員会 (担当理事:成田 純治 委員長:杉本 一夫)

[1] 委員の交替

蓑原 淳一(電通)

→ 横田 大(同社 グローバル・ビジネス・センター部長)

[2] 第43回海外広告研修団の派遣

(1) 第43回海外広告研修団

◇研修地:アメリカ・ニューヨーク

◇日程:平成28年9月25日(日)~10月3日(月)9日間

◇研修テーマ:「ココロを動かす、行動を促すコミュニケーションの進化を探る」

★研修ポイント

- デジタル時代に成すべきブランディングとは？
- イノベーションをもたらす既存メディアとデジタルメディアの今後。
 - <DMP (データ マネジメント プラットフォーム) 事例>
- 情報過多時代のコンテンツ流通/メッセージングの手法とは？
- テクノロジーを活用したクリエイティブの進化。
 - <VR (バーチャルリアリティ) 事例>

- ◇ 研修：第13回アドバタイジングウィークNY参加と4社の企業研修
 - 企業研修=アメリカ広告業協会、Mccap (広告会社)、UM (メディアエージェンシー)、Google (IT企業)
- ◇ スケジュール：7月21日 第1回事前研修会 (顔合わせ会)
 - 9月12日 第2回事前研修会
 - 9月25日～10月3日 研修団ツアー実施
 - 10月25日 海外交流委員会にて帰国報告会
 - 11月30日 研修団報告書発行
- ◇ 団員構成：20名 (16社+事務局1名)
 - 団 長：矢作 俊哉 (ジェイアール東日本企画 第二営業局次長/第二部長)
 - 副団長：小寺 弘道 (読売広告社 コミュニケーションデザイン統括局局長代理)
 - 事務局：村井 知哉 (協会 専務理事)

(2) 事前研修会の実施

- ① 第1回事前研修会 (7月21日)
 - 「海外広告研修団の参加の心構え」
 - 講 師：保良 潔 (第42回海外広告研修団団員/読売広告社)
- ② 第2回事前研修会 (9月12日)
 - 「アドバタイジングウィークNYについて」
 - 講 師：池上 翔 (電通パブリックリレーションズ)

(3) 帰国報告会の実施

- 以下の通り開催し、研修団員より報告を受けた。
- ◇ 日 時：平成28年10月25日 (火) 14時30分～17時
 - ◇ 会 場：電通銀座ビル・8階・共用会議室
 - ◇ プログラム：1) 第43回海外広告研修団報告
 - 企業研修4社とアドバタイジングウィークについて

(4) 報告書の発行

- 研修報告をJAAAレポート臨時増刊号 (No.730) として以下の通り発行した。
- ◇ 発行日：平成28年11月30日
 - ◇ タイトル：行動が生まれる「モーメント」を探せ! アメリカで見る、テクノロジーとコミュニケーションの深化
 - ◇ 版 形：B5判 25ページ

◇部 数：5,100部

[3] 「スパイクスアジア2016」研修ツアーの派遣

(1) 「スパイクスアジア2016」研修ツアー

◇研修地：シンガポール

◇日 程：平成28年9月20日(火)～9月24日(土)(5日間)

◇研 修：スパイクスアジア2016への参加

- 電通シンガポールによるシンガポール広告事情説明会の開催

◇団員構成：17名(16名(7社)+事務局1名)

事務局：田口 康弘(協会 主幹)

なお、研修報告は、JAAAレポート1月号(No.732)にて報告。

(2) 事前説明会の実施(9月6日)

- スパイクスアジア2016の概要とツアー説明

[4] アジア広告業協会連盟

(CAAAA=The Confederation of Asian Advertising Agency Associations)

(1) シンガポール理事会・年次総会・臨時理事会報告

4月21日、シンガポールにて、CAAAAの理事会・年次総会・臨時理事会が開催され、構成8団体の内5団体が参加した。

当協会からは村井専務理事、杉本海外交流委員会委員長(日本経済広告社)、他計5名が参加し、以下の検討を行った。

- 日 時：平成28年4月21日(木) 9時30分～14時35分
- 会 場：インターコンチネンタルホテル シンガポール
- 参 加：インドネシア、インド、中華台北、シンガポール、日本(5団体)

会 長 ハリス・タエブ<インドネシア>

総務担当理事 ナゲシ・アライ<インド>

理 事 ロミー・チェン<中華台北>

理 事 アンソニー・カン<シンガポール>

村井 知哉<日本>

- 議 事：

【理事会】

▶2015年9月 理事会議事録承認

▶財務状況報告

▶会員状況報告

▶理事選挙

▶活動報告

スパイクスアジア2015

アジア太平洋 (APAC) エフィー・アワード2016

- ▶ 業界に対するCAAAAの取り組みについて
- ▶ 次回理事会開催について

【総会】

- ▶ 2015年度 総会議事録承認
- ▶ 2015年度 CAAAA会長報告
- ▶ 2015年度 会計報告
- ▶ 2016年度 監査役の任命
- ▶ 2016年度 会費について
- ▶ 2016年～2017年度 理事について

【臨時理事会】

- ▶ 年次総会開催時期についての規約変更

(2) 東京理事会報告

9月1日、東京にて、CAAAAの理事会が開催され、構成8団体の内6団体が参加した。当協会からは、俣木相談役、村井専務理事、杉本海外交流委員会委員長（日本経済広告社）が参加し、以下の検討を行った。

- 日 時：平成28年9月1日（木）13時30分～16時50分
- 会 場：帝国ホテル5階「カンファレンスルームA」
- 参 加：インド、日本、シンガポール、中華台北、香港、インドネシア（6団体）

会 長	ナゲシ・アライ<インド>
副会長	俣木 盾夫<日本>
財務担当理事	アンソニー・カン<シンガポール>
総務担当理事	ロミー・チェン<中華台北>
理 事	アンジェラ・ング<香港>
理 事	マヤ・ワトノ<インドネシア>
	スペンサー・ウォン< >
	村井 知哉<日本>

● 議 事

【理事会】

- ▶ 2016年4月 理事会議事録承認
- ▶ 財務状況報告
- ▶ 会員状況報告
- ▶ 収入源について
 - スパイクスアジア2016
 - アジア太平洋 (APAC) エフィー・アワード2016
- ▶ 広告業界に対する取り組み
 - ICA—日本からのプレゼンテーション

CAAAA活性化、ウェブサイトのコンテンツ充実
ユース・リーダーシップ&エクスチェンジ・プログラム

- ▶メディア売上の透明性について
- ▶次回理事会開催について

(3) 「アジア太平洋 (APAC) エフィー・アワード2016」

①2016受賞発表会

4月21日、アジア広告業協会連盟主催「APACエフィー・アワード2016」の受賞式にて、日本からは下記の受賞があった。

☆銅賞 広告会社：I&S BBDO/BBDO JAPAN

広告主：Mars Japan

「スニッカーズ・Hungry Barber」

☆銅賞 広告会社：オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン

広告主：IBM Japan

「IBM Blue Hub」

[4] クリエイティブ委員会 (担当理事：中田 安則 委員長：能登 健裕)

[1] 委員の交替等

■交替

尾形 嘉寿 (I&S BBDO)

→ 池田 伸一 (同社 コンテンツディベロップメントグループSCD)

田中 昌宏 (大広)

→ 中村 太郎 (同社 東京アクティベーションデザインビジネスユニット第2クリエイティブ局長)

溝口 俊哉 (マッキンゼーエリクソン)

→ 中村猪佐武 (同社 制作局ECD)

■委員長の互選

- 委員長：能登 健裕 (東急エージェンシー)

[2] クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞

(1) 2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー

①表彰式

- 日時：平成28年5月31日 (火) 14時30分 (平成28年度定時総会・記念式典)

- 会場：パレスホテル東京・2階・葵

*中田担当理事より審査経過報告、高嶋元理事長より表彰盾授与

◇2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー 1名

篠原 誠 (電通)

◇2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト 8名

村田 俊平(電通九州)
 今永 政雄(電通九州)
 漆谷 浩(TBWA\HAKUHODO)
 都築 徹(電通)
 久富 和寿(西広)
 近山 知史(TBWA\HAKUHODO)
 須之内元也(博報堂DYメディアパートナーズ)
 橋田 和明(博報堂/博報堂ケトル)

◇クリエイター・オブ・ザ・イヤー・ノミネート 37名(24社)

②「2015年クリエイターズ・オブ・ザ・イヤー特集」の発行(JAAAレポート臨時増刊号No.723)

- 発行日：平成28年5月31日(火)
- 版 形：B5判 36ページ
- 部 数：7,000部
- 配布先：会員社、各地広告業協会、応募者、広告主、媒体社、関係団体、広告学会、各クリエイティブ研究会で配布など

(2) 2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー

①募集活動

平成28年12月1日より、ポスター、エントリーキット一式を会員全社に送付して募集を開始、同日発行のJAAAレポート12月号(No.731)においても告知を行い、平成29年1月31日に締め切った。

▶募集ポスター、パンフレットの制作：電通

②応募総数：41名(26社)

③審査及び発表

平成29年2月24日、審査会を開催、受賞者を内定、3月14日開催の第297回理事会承認後、発表した。

④2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者

◇2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー

菅野 薫(電通 CDC/Dentsu Lab Tokyo グループ・クリエイティブディレクター/クリエイティブテクノロジー
 スト)

◇2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト

篠原 誠(電通 第3CRプランニング局クリエイティブディレクター CMプランナー)

二澤平治仁(TBWA\HAKUHODO Disruption Lab・Senior Art Director)

栗林 和明(TBWA\HAKUHODO Digital Arts Network Tokyo・Buzz Machine)

榎本 卓朗(博報堂 フェロー/クリエイティブ人材企画室 CD/AD)

皆川壮一郎(読売広告社 コミュニケーションデザインセンター クリエイティブディレクター)

三井 明子(アサツー ディ・ケイ クリエイティブ本部クリエイティブディレクター/コピーライター)

渋谷 三紀(アサツー ディ・ケイ クリエイティブ本部クリエイティブディレクター/コピーライター)

◇2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・ノミネート 41名(26社)

[3] クリエイティブ研究会の開催

＜企画担当兼コーディネーター：能登 健裕委員（東急エージェンシー）＞

(1) 当協会主催

①第75回JAAAクリエイティブ研究会（東京開催）について

- 日 時：平成28年7月6日（水）13時～15時30分
- 会 場：ヤクルトホール
- テーマ：「受賞者が語る『いま、ここを動かすクリエイティブ』」
- 講 師：2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
篠原 誠（電通 第3CRプランニング局クリエイティブディレクター / CMプランナー）
2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
今永 政雄（電通九州 クリエーティブディレクション局2部クリエイティブディレクター）
橋田 和明（博報堂 / 博報堂ケトル クリエイティブディレクター）
- コーディネーター：能登 健裕（東急エージェンシー / クリエイティブ委員）
- 参加者：459名

②第76回JAAAクリエイティブ研究会（東京開催）について

- 日 時：平成29年3月1日（水）13時～15時30分
- 会 場：ヤクルトホール（港区東新橋）
- テーマ：「いま、クリエイティブ・ディレクションの定義が変わる～Chance～」
- 講 師：古川 裕也（電通 クリエーティブ・ボード ECD）
高崎 卓馬（電通 CDC ECD / CMプランナー）
市来健太郎（博報堂 シニアクリエイティブディレクター兼「恋する芸術と科学」編集長）
中村 洋基（PARTY ファウンダー / クリエイティブディレクター）
- コーディネーター：能登 健裕（東急エージェンシー / クリエイティブ委員長）
- 参加者：501名

(2) 各地広告業協会と共催

各地とも以下のテーマとコーディネーターで開催。

- テーマ：「受賞者が語る『いま、ここを動かすクリエイティブ』」
- コーディネーター：能登 健裕（クリエイティブ委員 / 東急エージェンシー）

①【名古屋開催】第59回名広協クリエイティブ研究会

- 共 催：名古屋広告業協会、愛知広告協会
- 日 時：平成28年7月28日（木）14時～16時35分
- 会 場：栄ガスホール（名古屋市中区）
- 講 師：2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
篠原 誠（電通 第3CRプランニング局クリエイティブディレクター / CMプランナー）
2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
村田 俊平（電通九州 クリエーティブディレクション局CMプランナー）
漆谷 浩（TBWA\HAKUHODO*現 博報堂 シニアクリエイティブディレクター）

- 参加者：125名

②【札幌開催】第34回H A A Aクリエイティブ研究会

- 共 催：北海道広告業協会
- 日 時：平成28年9月23日(金) 14時～16時30分
- 会 場：札幌東急REIホテル(札幌市)
- 講 師：2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
 篠原 誠(電通 第3CRプランニング局クリエイティブディレクター/CMプランナー)
 2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
 漆谷 浩(TBWA\HAKUHODO*現 博報堂 シニアクリエイティブディレクター)
 久富 和寿(西広 CS西広CDセンター クリエイティブディレクター/コピーライター/CMプランナー)

- 参加者：188名

③【三島開催】第14回S A A Aクリエイティブ研究会

- 共 催：静岡県広告業協会、静岡県広告協会(後援)
- 日 時：平成28年10月14日(金) 13時～15時45分
- 会 場：三島市民文化会館(三島市)
- 講 師：2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
 篠原 誠(電通 第3CRプランニング局クリエイティブディレクター/CMプランナー)
 2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
 村田 俊平(電通九州 クリエイティブディレクション局CMプランナー)
 須之内元也(博報堂DYメディアパートナーズ CONCREATコミュニケーションデザインプランナー)

- 参加者：247名

④【福岡開催】第34回J A A Aクリエイティブ研究会・福岡

- 共 催：九州広告業協会
- 日 時：平成28年11月10日(木) 18時～20時30分
- 会 場：都久志会館(福岡市中央区)
- 講 師：2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
 篠原 誠(電通 第3CRプランニング局クリエイティブディレクター/CMプランナー)
 2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
 都築 徹(電通中部支社 顧客ビジネス局クリエイティブディレクター)
 近山 知史(TBWA\HAKUHODO Disruption Lab クリエイティブディレクター)

- 参加者：415名

⑤【京都開催】京都クリエイティブ・トーク2016

- 共 催：京都広告業協会
- 日 時：平成28年11月18日(金) 15時～17時10分
- 会 場：京都商工会議所
- 講 師：2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
 篠原 誠(電通 第3CRプランニング局クリエイティブディレクター/CMプランナー)

2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト

今永 政雄 (BLUEとGREEN CEO クリエイティブディレクター／元・電通九州)

都築 徹 (電通中部支社 顧客ビジネス局クリエイティブディレクター)

- コーディネーター：能登 健裕 (東急エージェンシー／クリエイティブ委員長)
- 参加者：100名

[4] 小委員会の活動

(1) 賞実行小委員会 (委員長：金森 誠)

①委員の交替

田中 昌宏 (大広)

→ 金森 誠 (ジェイアール東日本企画 取締役企画制作本部長)

鈴木 裕子 (電通)

→ 戸田 千奈 (同社 ビジネス統括局顧客事業推進室サービスラインマネジメント部専任部長)

②委員長の交替

田中 昌宏 (大広)

→ 金森 誠 (ジェイアール東日本企画)

③クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の運営

2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞に関し、賞の告知・PRや審査会の運営面での「推薦・応募書類」の確認、応募要項の検討等、賞の選考を円滑にするための活動を行った。

◇以下の制作物はジェイアール東日本企画が担当

- 募集ポスター、応募キット等
- パンフレット「推薦・応募のご案内」
- JAAAレポート臨時増刊号「2016年クリエイターズ・オブ・ザ・イヤー特集」

(5月31日発行予定)

(2) 著作権小委員会 (委員長：小竹 伸幸)

①委員の交替等

近藤 啓司 (マクキャンエリクソン)

→ 木村 知生 (同社 法務マネージャー)

富永 正久 (読売広告社)

→ 内藤 圭二 (同社 リスクマネジメント局リーガルリスクマネジメント部部長)

■委員の補充

村田佳典子 (博報堂 法務室第2グループグループマネージャー)

②「パカパカ問題」について

テレビCMに激しい画面の点滅が多数使用され、視聴者に体調不良をあたえ、1998年に日本民間放送連盟がその防止にあたりガイドラインを出した、「パカパカ問題」。

この問題が一部再燃している現状を、日本アド・コンテンツ制作協会等が問題視し、会員各社に9月に注意喚起をはかるとの情報を共有した。

③CM表現クレーム対応セミナーの開催

以下の通り、開催した。

- 日 時：平成28年11月28日（月）14時～15時30分
 - 場 所：電通銀座ビル・8階・共用会議室
 - プログラム：「CM表現クレーム◎11の対応原則 一般視聴者からの表現クレーム対応」
講 師 <広告クレーム検討プロジェクトメンバー>
山本 京輔（博報堂 MD統括局リスクコンサルティング部長）
渡部 秀人（電通 法務マネジメント局次長・広告表現コンサルティング部）
 - 参加費：無料
 - 定 員：32名（17社）
- ※資料として、リーフレット『CM表現クレーム◎11の対応原則』を配布。

④「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」について

当小委員会として、広告会社を含めた各プレーヤーの責任分担・権利課題を中心に情報共有、検討を行った。

・・・「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」の項参照・・・

(3) 制作取引小委員会（委員長：沼澤 忍）

①委員の交替

- 野田 高澄（東急エージェンシー）
→ 柚原 武明（同社 ソリューション本部クリエイティブ局プロデュース部専任部長）
子延 雅基（博報堂）
→ 淵辺 穰（同社 発注統括局協会社マネジメント部長）
鈴木 賢二（読売広告社）
→ 上田 剛司（同社 クリエイティブ局CR局付局長代理）

②副委員長の互選

- 副委員長：淵辺 穰（博報堂）

③「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」について

当小委員会は、日本アド・コンテンツ制作協会並びにポスプロ業界と情報共有を行いつつ、CM制作取引におけるコスト削減や、オンライン運用における課題について、検討した。

・・・「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」の項参照・・・

■日本音楽著作権協会（JASRAC）約款の変更説明会

4月20日、JASRACより、CM送信用録音の許諾に含まれない広告目的の複製全般等の使用料規程の一部を、規定額から委託者の指定する額（指値）に変更する内容について、著作権小委員会委員他と合同で説明を受けた。

④「働き方改革」について

1月20日、制作取引小委員会委員を対象に広告制作上の「働き方に関するアンケート」を実施、1月30日15名の回答を得、アンケート集計をもとに意見交換を行った。このアンケート集計をもとに、正副理事長直轄「特別委員会」との情報共有を行い、対応を協議した。

【5】広告問題研究委員会 (担当理事：神田橋 治 委員長：北原 利行)

【1】担当理事の交替等

(1) 担当理事の交替

櫻井 正伍 (協和企画)

→ 神田橋 治 (TOMOE 代表取締役社長)

(2) 委員の交替等

殿村 良彦 (アサツー ディ・ケイ)

→ 石田 心平 (同社 社長室長)

■退任

林 朋夫 (電通)

(3) 平成28年度「下請取引適正化推進月間」(11月)に係る標語募集について

中小企業庁と公正取引委員会より、標記標語募集に関し8月18日に審査協力依頼があり、村井専務理事が対応した。審査結果は以下の通りで、10月3日に中小企業庁と公正取引委員会のホームページで発表された。

【特選】 下請けの 確かな技術に 見合った対価

【2】小委員会の活動

(1) 環境小委員会 (委員長：川谷 愛作)

①委員の交替

川口 二穂 (大広)

→ 鶴貝 哲夫 (同社 東京アクティベーションデザインビジネスユニット第2クリエイティブ局ダイレクター
クリエイティブグループグループ長)

大司洋二郎 (電通)

→ 木下 浩二 (同社 法務マネジメント局CSR推進部長)

山本 充裕 (東急エージェンシー)

→ 高橋 研 (同社 人事・総務局総務・法務部環境活動推進担当)

②「広告人のための環境コミュニケーション入門」第7版の発行

ISO14021「環境ラベル及び宣言／自己宣言による環境表示(タイプII環境ラベル表示)修正票1」に基づき用語説明の加筆と用語集の見直しを行い、「『環境ラベル及び宣言』規格」「その他の環境表示に関わる注意事項」の2部構成でまとめた。

- 発行日：平成28年4月1日
- 版 形：B6判 37ページ
- 価 格：会員=324円 一般=540円
- 部 数：1,000部

③第5回「環境モラルアップポスター」募集

6月1日、募集要項をJ A A Aレポート6月号及び協会ホームページに発表すると共に、会員全社に

メール送信して募集を開始し、7月29日に締め切った。

8月5日、審査会を開催し、審査結果を10月1日付けで発表した。

- テーマ：「広告人の環境意識を高め、行動につながるもの」
- 表彰：最優秀賞1点
- 応募総数：90作品（8社58名）
- 審査結果：10月1日、「JAAAレポート」10月号並びに協会ホームページにて発表
- 入賞作品：「環境マナーモード」に設定してください。
- 制作者：鹿毛絵梨花（読売広告社 クリエイティブ局第1CRルーム）

④ ISO14001（環境マネジメントシステム規格）改訂に伴う勉強会について

平成27年9月、ISO14001の改訂版が発行されたことを受けて、規格改訂にあたってのポイントを広告業界に絞った視点で解説した勉強会を開催した。

- 日時：平成28年8月26日（金）14時～16時10分
- 場所：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- 講師：中川 優（日本能率協会 ISO研修事業部 担当部長）
- 参加者：15名（10社）

アサツー デイ・ケイ、オリコム、ジェイアール東日本企画、電通、東急エージェンシー、日本経済社、博報堂、ビーコン コミュニケーションズ、フロンテッジ、読売広告社

4

取引合理化関係

【1】取引合理化委員会（担当理事：岩井 秀一 委員長：望月 渡）

【1】委員の交替

加藤 讓（電通）

→ 望月 渡（同社 常務執行役員）

【2】委員長の互選

- 委員長：望月 渡（電通）

【3】委員会の開催

①「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」活動報告承認について

1月23日開催の取引合理化委員会にて、「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」の平成28年度事業報告案並びに平成29年度事業計画案について、説明があり、これを承認した。

②第4回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」結果承認について

1月23日開催の取引合理化委員会にて、ビジョン小委員会より、大賞・優秀賞の受賞を内定したコミュニケーションの説明があり、検討の結果、これを承認した。

[4] 小委員会の活動

(1) 取引合理化小委員会 (委員長：畔 大)

①委員の交替

山本 泰弘 (大広)

→ 嘉村 敏美 (同社 経理財務局経理部部长)

中野 智司 (電通)

→ 三宅 大 (同社 経理局局长補)

②委員長の互選

- 委員長：畔 大 (博報堂)

③「広告会社のための下請法ガイドブック」改訂版について

平成20年に下請法遵守の啓発と各社の対応方法整備の一助とすることを目的として発行した「広告会社のための下請法ガイドブック」について、この度の消費税転嫁対策・下請法改正等の内容を受け、改訂版を以下の通り発行し、説明会を開催した。

- 発行日：平成28年4月1日
- 版 形：A4判 104ページ
- 価 格：会員 1,080円 一般 2,160円
- 部 数：1,200部

■「広告会社のための下請法ガイドブック」改訂版説明会

- 日 時：平成28年10月12日 (水) 14時～16時
- 場 所：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- 講 師：植村 幸也 (弁護士法人 大江橋法律事務所 弁護士)
- 参加者：60名 (22社)
- 参加費：1,080円 (資料代含む)

④下請法ガイドラインに関するヒアリングへの対応

9月2日、経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課最上課長補佐・村山係長より、1) 広告における取引環境、2) 制作会社間 (企業間) の取引、3) 下請法・その他取引に関する仕組み、についてヒアリングがあり、畔委員長より広告業界における取引/労働環境・協会としての取り組みなど、説明を行った。

(2) 情報システム小委員会 (委員長：川上 勲)

①委員の交替

昼間 久史 (朝日広告社)

→ 北原 治 (同社 管理本部経理・管理局情報システム部部长)

柳瀬 由紀 (ジェイアール東日本企画)

→ 黒木 昭一(同社 経営企画局情報システム部長)

坂井 文博(昭通)

→ 兼清 俊彦(同社 管理部部長代理)

②副委員長の互選

● 副委員長：太田 雅人(アサツー ディ・ケイ)

● 副委員長：奥村 卓也(電通)

③平成28年度「情報システムに関するアンケート」の実施

毎年定点観測的に実施している「情報システムに関するアンケート」の結果報告を、J A A Aレポート2月号(No.733)で掲載した。同アンケートの平成28年度のテーマは、1) 標的型サイバー攻撃、2) 働き方改革、とし、報告をまとめた。

④CM素材オンライン運用検討プロジェクトについて

当委員会としては、広告会社のシステム対応の課題を中心に検討を行うと共に、広告EDIセンターに、システム開発のための「システム開発タスクフォース」メンバーを派遣し、協力を行った。

また、「オンラインCM搬入暫定規準」を制定し、ファイル素材の種類区分にオンラインを追加するなど「ファイルベースメディアCM搬入暫定規準」を改訂し、当協会「テレビスポット広告取引EDI」標準メッセージの変更を行うこととした。

(3) ビジョン小委員会(委員長:鈴木 克明)

①委員の交替

鈴木 俊和(アサツー ディ・ケイ)

→ 鈴木 克明(同社 経営企画本部経営企画室国内関係会社管理グループ長)

萩原 浩平(ジェイアール東日本企画)

→ 田邊 敬詞(同社 営業本部JR局次長兼第二部長)

夏目 穰(博報堂)

→ 菅井 陽司(同社 営業統括局長代理)

水本 宏毅(読売広告社)

→ 山脇 拓雄(同社 経営企画局長代理)

②委員長・副委員長の互選

● 委員長：鈴木 克明(アサツー ディ・ケイ)

● 副委員長：菅井 陽司(博報堂)

③「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞 -Innovative Communication Award- (ICA)」

実行ワーキンググループメンバーの交替

小林 弘嗣(I&S BBDO)

→ 山本 奨(同社 プランニンググループコミュニケーションデザインチーム)

山口 淳史(朝日広告社)

→ 須田 直樹(同社 統合マーケティングコミュニケーション本部デジタルソリューション局Iメディアプロモーション部)

→ 桑原 佑介(同社 メディア第二局ラジオテレビ部)

宣 詩英 (朝日広告社)

→ 加藤 慶 (同社 メディアソリューション室)

神山 加衣 (大広)

→ 和泉 紘子 (同社 東京アクティベーションデザインビジネスユニット第1クリエイティブ局第1クリエイティブグループ)

佐藤 将秀 (博報堂DYメディアパートナーズ)

→ 石井 良太 (同社 人事局労務部マネジメントプランナー)

■ 幹事の交替

小林 弘嗣 (I&S BBDO)

→ 桑原 佑介 (朝日広告社)

④ 第3回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞 (ICA)」受賞発表

第3回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞 (ICA)」の審査結果は、JAAAレポート4月号 (No.720) 並びに当協会ホームページにて発表した。

4月12日、東京国際フォーラムで開催された、「AdverTimes DAYS」(当協会協力・宣伝会議主催)にて、ボード提示によるPRを実施した。

⑤ 第4回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞—Innovative Communication Award— (ICA)」について

業界の活性化を目的とし4年目を迎えた、「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞—Innovative Communication Award— (ICA)」、第4回目の募集・選考を行った。

■ 活動主旨

世の中に次々と現れる新しいコミュニケーションのカタチを広告業界の次代を担う若手の人たちが見出し、広告業界が讃えることで、広がるコミュニケーションビジネスの新たな可能性を提示し、広告業界活性化の一助とする。

■ 運営スケジュール

- 募集期間：平成28年10月1日 (土) ～ 31日 (月)
- 審査期間：平成28年11月～ 12月
- 確認・承認期間：平成29年2月～ 3月
- 発表：平成29年4月1日JAAAレポート4月号、協会ホームページ

■ 募集活動

平成28年10月1日募集開始、告知ポスターを会員社に発送するとともに、JAAAレポート10月号並びに協会ホームページに下記応募要項を発表、10月31日に締め切った。

■ 審査スケジュールと経緯

平成28年11月21日 第一次審査会

・応募点数：145件 (前回 144件)

・第一次通過作品：37件

平成28年12月8日 第二次審査会

・第二次通過作品：10件

平成28年12月21日 最終審査会
 ・大賞1件、優秀賞5件、を内定

■ 審査結果

【大賞】1件

タイトル：相棒採用

内容：「誰に面接されるか」を、面接される側が決めることができる新しい人材採用システム。「入社後の人間関係の不安」「人材選考の中で深く触れない間にリクルートから離脱してしまう」という課題を解決したコミュニケーション。

【優秀賞】5件

タイトル：Cansell

内容：ホテルにキャンセル料を支払う前に、その予約権利を、他の泊まりたい人に販売できるWebサービス。

タイトル：Second Life Toys

内容：おもちゃのぬいぐるみの「移植手術」を通じて、親子で「臓器移植」について考え・知ってもらうことを目的としたプロジェクト。特設サイトで壊れてしまったおもちゃとドナーとなるおもちゃを募集し、壊れたおもちゃの修復を行う。

タイトル：チェキ『写真のない図鑑』

内容：各ページに、子供が大好きなテーマ（動物や虫・・・等）がふってある、写真のない図鑑に、「チェキ」で撮影した写真を差し込んでオリジナルの図鑑を完成させる。子供の知育と親子のコミュニケーションをはかる企画。

タイトル：そばアレルギータトゥーチェッカー

内容：外国人観光客に「そばアレルギー」の認知拡大をはかるため、浮世絵のタトゥー風のアレルギー・チェッカーを開発。そば湯を塗ったステッカーを皮膚に貼ることで、アレルギー診断ができる国内外展開可能な仕組み。

タイトル：不満買取センター

内容：Web、またはアプリ上にユーザーが書き込んだ様々な企業やそのサービスの不満を査定、内容に応じてポイントを利用者に付与する。集まった不満は企業へと提供され、今後のマーケティング活動に生かす、顧客と企業のWin-Winの関係を体現したWebサービス。

(4) 営業課題検討小委員会 (委員長：橋爪恒二郎)

①委員の交替他

小泉日出雄(アサツー ディ・ケイ)

→ 矢ヶ部賢善(同社 基幹事業戦略本部基幹事業推進局局長)

山口 勝(ジェイアール東日本企画)

→ 塚原 泰彦(同社 営業統括・推進局部長代理)

荒木久一郎(東急エージェンシー)

→ 葉山 晃司(同社 営業企画局局長)

山内 秀樹(大広)

→ 山本 泰弘(同社 東京計画管理局第1管理部)

菅井 陽司(博報堂)

→ 峯村 晴夫(同社 営業統括局局長代理)

■補充

早坂 巖(日本経済広告社 日経メディア推進局シニアアカウントマネージャー)

②副委員長の互選

- 副委員長：矢ヶ部賢善(アサツー ディ・ケイ)
- 副委員長：峯村 晴夫(博報堂)

③「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」について

日本アドバタイザーズ協会より提案のあった「今後のテレビ媒体の価値向上のための、オンライン運用における効率化・コスト以外のオンラインの新たな可能性」に注力して検討した。

④ラジオCM素材のオンライン運用について

平成29年4月開始予定のラジオCM素材のオンライン運用について情報共有を行った。

[2] メディア委員会 (担当理事：大森 壽郎 委員長：山本 敏博)

[1] 委員の交替

高田 佳夫(電通)

→ 山本 敏博(同社 常務執行役員)

杉浦 修(東急エージェンシー)

→ 阿部 芳己(同社 取締役メディア本部長)

藤沼 大輔(読売広告社)

→ 山路 英夫(同社 取締役執行役員)

[2] 委員長の互選

- 委員長：山本 敏博(電通)

[3] メディア委員会と日本民間放送連盟・営業委員会との懇談会

5月20日、ルポール麹町「サファイア」にて開催され、当協会からは大森担当理事、メディア委員会委員、テレビ小委員会委員、デジタル特別委員会委員長、副委員長、テレビ小委員会CM運行ワーキンググループ/放送確認ワーキンググループ/有事の際のテレビ広告対応ワーキンググループ代表が出席し、テレビ広告をテーマに懇談を行った。

[4] 第12回「日本放送文化大賞」審査員の派遣

日本民間放送連盟からの依頼により、メディア委員会より以下の通り審査員を派遣、審査結果は、11月9日、第64回民間放送全国大会(東京開催)にて発表された。

＜中央審査員＞

◇テレビ審査員 宮崎 育久(博報堂DYメディアパートナーズ)

◇ラジオ審査員 野中 昭弘(朝日広告社)

＜東京地区審査員＞

◇テレビ審査員 村井 知哉(日本広告業協会)

＜近畿地区審査員＞

◇テレビ審査員 杉浦 修(東急エージェンシー)

【5】委員会の開催

①「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」報告の承認について

1月24日、平成28年度事業報告案並びに平成29年度事業計画案について説明があり、これを承認した。

平成28年度(第18回～第22回)「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」は、日本アドバタイザーズ協会／日本アド・コンテンツ制作協会／オンライン事業者／日本広告業協会会員社等各ステークホルダーにオンライン運用に向けての課題・状況の情報共有をすすめ、説明会によるオンライン運用の周知に努めるとともに、自由参入領域・協調領域等の「全般的ワークフロー」の整備と進展に努めた。

平成29年度は、10月のテレビCMのオンライン運用開始への速やかな移行を目標とし、以下の通り、同プロジェクトを推進する旨、説明があり、これを承認した。

- 1) 10月のオンライン運用開始説明会の実施
- 2) ステークホルダーへの対応
 - 日本アドバタイザーズ協会及び会員社
 - 日本民間放送連盟及び加盟社
 - 日本アド・コンテンツ制作協会及び加盟社
 - オンライン事業者
 - 日本広告業協会会員社
- 3) 普及推進策の立案
 - 全国でのEDI普及拡大
 - タイムEDI開発
 - 提供テロップオンライン化
- 4) オンライン化によって可能となる素材及びメタデータの拡張利用の検討
 - マルチデバイス対応の検討
 - 新たなオーディエンスデータ調査方法の検討

【6】特別委員会、小委員会の活動

(1) デジタル特別委員会(委員長:外山 善太)

①委員の交替

松岡 隆将 (マッキンゼーエリクソン)

→ 三枝 一郎 (同社 媒体本部業務統括局業務部)

②第18回・第19回・第20回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」報告

テレビCMオンライン運用に関する民放連会員社説明会等、プロジェクトの情報共有を行った。

・・・・・・「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」の項参照・・・・・・

③平成28年度「CM素材ファイル運用促進プロジェクト(アドミッション・フェーズ2)」報告

オンライン運用実現の為の戦略プロジェクトとして、「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」に各種情報提供・提案を行った。

また、テレビ及びラジオにおけるCM運用の正確性向上と効率化のために、10桁CMコードとCM素材交換メタデータを活用するために、CM登録認証サービス(CMAS)のシステム運用を広告EDIセンターに委託し下記を実施した。

- CMASの広告業の立場から更なる機能強化と業界標準化の推進
- 平成29年度上期をもって現行のCMASの運用を終了する方向で、広告EDIセンターへの業務委託費の低減化を推進

■プロジェクト運営費用に関する考え方

アドミッション・フェーズ2 平成28年度収支見込み(平成28年12月末)

参加社計 7社1グループ

▶収入見込み 24,520,320円(税込)

▶支出見込み 24,516,517円(税込)

収支差額 3,803円(税込)

④「CMオンライン普及プロジェクト」と運営負担金について

【平成29年度よりプロジェクト名「CM素材ファイル運用促進プロジェクト(アドミッション・フェーズ2)」を改称】

平成29年に開始されるテレビ(10月～)ラジオ(4月～)のオンライン運用の普及促進の為の戦略プロジェクトとして、今までに蓄積した知見とノウハウを基に、CM素材オンライン運用検討プロジェクト及びテレビ小委員会・ラジオ小委員会に、下記の通り、各種情報提供・提案を行った。

- (1) 理解・周知の施策： 説明会・情報共有セミナー等の企画・立案、資料作成
- (2) 普及促進の施策： オンライン運用のメリットを拡充し日本全国に普及を促進する施策の立案

○テレビ

- ・番組提供テロップオンライン化方式検討
- ・テレビ番組EDI化方式検討

○テレビ・ラジオ共

- ・各エリアでのEDI普及促進施策検討(簡易なEDI方式の検討)

また、現行のCMASのシステム運用は、テレビCMオンライン運用開始の平成29年10月まで継続することとし、主要参加会社7社1グループの平成29年度費用負担は下記の通りとした。

〈費用総額 15,390,000円(税込)〉

(2) テレビ小委員会 (委員長: 桜井 徹哉)

①委員の交替

難波 秀幸 (I&S BBDO)

→ 山崎 久樹 (同社 統合メディアバイイングメディアディレクター)

和田 尚志 (アサツー ディ・ケイ)

→ 高野 與平 (同社 メディア・ビジネス本部テレビスポット局長)

林 朋夫 (電通)

→ 高島 俊 (同社 ラジオテレビ局局長補)

宮田 武俊 (フロンテッジ)

→ 中谷 智子 (同社 メディア・コンテンツ部門メディアプロデュースグループグループ長)

②副委員長の互選

- 副委員長: 高島 俊 (電通)
- 副委員長: 高野 與平 (アサツー ディ・ケイ)

③「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」報告

第18回から第23回までの「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」の報告を情報共有した。2017年度を目標にテレビCMのオンライン運用導入を積極的に推進するべく、CM運行ワーキンググループは、広告EDIセンターによる送受信サーバーの各局設置にあたり、早期導入可能局・エリアの把握と、個別エリアの説明会対応等検討した。

また、日本民間放送連盟、日本アド・コンテンツ制作協会、オンライン事業者等ステークホルダーとの意見交換や説明会開催を通し、相互の理解を進めながら、「オンラインCM搬入暫定規準」への確定を行い、プロジェクトを推進した。

④ビデオリサーチ「テレビCM素材オンライン運用事業に関する提案」について

ビデオリサーチより、「CMASデータを活用した広告出稿データ作成フローの提案」説明を、プロジェクトメンバー関係者と共に説明を受けた。CMASデータの事前提供の取り扱いによる広告統計データの精度向上サービスについて、守秘義務契約の担保や広告主の許諾のルール化等課題と対応について意見交換を行った。

⑤「有事の対応」について

3月31日、日本アドバイザーズ協会への報告、並びに4月14日に起こった熊本県を震源とする「熊本地震」の震災対応とCM放送について、情報共有をした。

1) 報道特番に関する検討課題、2) 素材の地区差替えに関する検討課題の報告があり、テレビ広告懇談会にて課題の検討を日本民間放送連盟に働きかけた。

⑥字幕付きCM普及推進協議会について

6月22日、字幕付きCM普及推進協議会は、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会並びに全日本ろうあ連盟を迎えて、意見交換会を実施した。障害者団体から、「字幕付きCMが、いつどこの局で放映されているかわからないので、知りたいし、PRをしてほしい」「『字幕の日』を設ける等、もっと字幕付きCMを増やして欲しい。」「テレビのリモコンの字幕付きボタンがわかりにくい」等、意見が挙げられた。

字幕付きCM普及施策として、1) 放映されている字幕付きCMに対する「ご意見メール」を収集するために、構成3団体のホームページに「ご意見箱」を設置、2) 全日本シーエム放送連盟（ACC）の協力を得て、ACC入賞作品発表会にて協議会の活動のPRを行う等、実施した。

9月14日、日本アドバイザーズ協会・日本民間放送連盟並びに当協会3団体による「字幕付きCM普及推進協議会」運営委員会を開催、第2期（平成27年10月～平成28年9月）目の同協議会の活動報告並びに、第3期（平成28年10月～平成29年9月）目の活動計画（案）について検討した。

第2期の協議会活動目標は、当協会が幹事団体として掲げた「字幕付きCMの更なる推進」で、具体的な施策として、1) 地方への認知拡大として大阪での説明会の開催、2) 広報活動の強化として広告関係団体への字幕推進活動の協力依頼、3) 聴覚障害者との意見交換を推進するために構成3団体のホームページに「ご意見箱」を設置等であった。

議事 1) 字幕付きCM普及促進の取り組み

2) 第2期（平成27年10月～平成28年9月）「字幕付きCM普及推進協議会」活動報告

・字幕付きCMセミナー（大阪開催）

日 時：平成28年3月22日（火）14時～16時10分

場 所：電通関西支社12階ホール

参加者：160名

・字幕付きCMを必要とする聴覚障害者との意見交換会

日 時：平成28年6月22日（水）午後3時～5時

場 所：電通銀座ビル・8階・共用会議室

障害者団体出席〔全日本ろうあ連盟〕

〔全日本難聴者・中途失聴者団体連合会〕

・関係団体への協力依頼の推進

ACC入賞作品発表会、配布パンフレットの広告掲載によるPR活動

・構成3団体による、字幕付きCMへの意見収集

（3団体のWebサイトに窓口メールを設置）

開始日：平成28年9月14日（水）

3) 字幕付きCMに関する取り組みの情報交換

・日本民間放送連盟 字幕付きCM実施状況報告

・総務省「総務省における取組」

4) 第3期（平成28年10月～平成29年9月）「字幕付きCM普及推進協議会」活動計画（案）

・字幕付きCM普及推進協議会運営委員

委員長 高島 俊〔日本広告業協会 テレビ小委員会副委員長（電通 ラジオテレビ局局长補）〕

委員 土橋 代幸〔日本アドバイザーズ協会 電波委員長（トヨタマーケティングジャパン 取締役）〕

鈴木 信二〔日本アドバイザーズ協会 専務理事〕

林 慎太郎〔日本民間放送連盟 CM運行検討小委員長（TBSテレビ 営業局長）〕

河野 宙〔日本民間放送連盟 字幕付きCMワーキンググループ主査（フジテレビジョン 営業

局担当局長]]

木村 信哉 [日本民間放送連盟 専務理事]

村井 知哉 [日本広告業協会 専務理事]

平成29年1月27日、日本アドバタイザーズ協会が幹事団体となり、「字幕付きCM普及推進協議会」運営委員会を開催、第3期協議会の活動計画（案）を検討、実務レベルの議論を進めていくために、2月22日、1) 字幕CMのコスト、2) 字幕CMの納期、3) 広告主の要望に合わせた複数社提供枠、4) 字幕に関わる技術的な進歩と対応等、検討を進めた。

⑦「今後の視聴率データについての研究」について

9月21日、在京テレビ局5社より、ビデオリサーチの「関東地区テレビ視聴率調査の仕様変更」を機に、1) タイムシフト視聴率を反映した視聴実態を、より正確に表すことのできる新たなテレビ広告取引指標の導入、2) 広告主のマーケティング活動に、より即した「個人全体視聴率」を利用した新たなテレビ広告取引指標の導入、を検討・準備を進めるとの在京テレビ局5社文書「テレビ視聴率の新指標導入に向けて」を受理、会員各社へ情報共有をはかった。

当協会は、今後の視聴率データについての研究のために、高島副委員長をリーダーとし、「オーディエンスデータワーキンググループ」を編成した。

1) テレビ効果可視化を目標としたマーケティングデータの整備、2) タイムシフト視聴及び個人全体視聴率導入にむけた課題、3) テレビ／動画広告におけるオーディエンスデータ海外視察、について検討した。

「テレビ／動画広告におけるオーディエンスデータ海外視察団」は、下記の通り、派遣した。

- 日 程：平成29年2月21日（火）～3月2日（木）
- 場 所：ニューヨーク、ロンドン
- テーマ： テレビ広告の取引とオーディエンスデータ
- 研修先：Hocus Focus/NBC/CBS/ComScore/FOX/ABC/Videology/ITV/Turner/CNN等
- 参加者：9名（5社）

■オーディエンスデータワーキンググループ

リーダー 高島 俊（電通）※テレビ小委員会副委員長

メンバー 丸山 裕則（I&S BBDO メディアグループメディアビジネス推進チームメディアディレクター）

小柳 育映（アサツー ディ・ケイ コミュニケーションチャンネルプランニング本部データソリューション局局长）

石井 弘益（朝日広告社 デジタルソリューション局Iメディアプロモーション部部长）

小川 直哉（ジェイアール東日本企画 コミュニケーション・プランニング局アクティベーションユニット）

武田 京市（電通 ラジオテレビ局局长補）

小方 靖（東急エージェンシー メディアソリューション局局长兼R&D部長）

飯塚 隆博（博報堂DYメディアパートナーズ 動画ビジネス局局长代理）

河村 徹生（博報堂DYメディアパートナーズメディアビジネス開発センターメディア・コンテンツマーケティング部長）

廿千絵美子 (フロンテッジ 営業本部 メディア・コンテンツ部門メディアプロデュースグループマネージャー)

松岡 隆将 (マッキンゼーエリクソン 媒体本部デジタル局バイイング部担当部長)

⑧JAAA「動画広告フォーラム2017」について

下記の通り、開催することとし、プログラム・講師等検討した。

- 日 時：平成29年5月22日(月)
- 場 所：有楽町よみうりホール

■動画広告フォーラム実行ワーキンググループ

リーダー 高橋 宏昭 (博報堂DYメディアパートナーズ 動画ビジネス局局长)

メンバー 團 秀彦 (I&S BBDO 統合メディアバイイングチーム1メディアマネージャー)

和田 尚志 (アサツー ディ・ケイ メディア・ビジネス本部専任局長)

湯澤 大介 (朝日広告社 メディア第二局局长)

桑原 佑介 (朝日広告社 ラジオテレビ部部員)

井上 隆平 (ジェイアール東日本企画 メディア局テレビラジオ部メディアバイイングチーフ・タイム業推担当)

石渡 弥 (電通 ラジオテレビ局動画ビジネス推進部部长)

野田 大樹 (電通 ラジオテレビ局MCプランニング局メディアビジネス・イノベーション室企画部長)

小方 靖 (東急エージェンシー メディア本部メディアソリューション局局长)

飯塚 隆博 (博報堂DYメディアパートナーズ 動画ビジネス局局长代理兼テレビタイムビジネス局局长代理)

田代 奈美 (博報堂DYメディアパートナーズ メディアビジネス開発センター開発推進部)

榎田 翔 (フロンテッジ メディア・コンテンツ部門メディアプロデュースGマスメディアチーム)

松岡 隆将 (マッキンゼーエリクソン 媒体本部デジタル局バイイング部担当部長)

⑨テレビCM考査について

テレビCM素材の考査に関わる課題に対応するため、「考査検討ワーキンググループ」を立ち上げ、考査業務課題と、考査手順の統一化等課題について検討した。

■考査検討ワーキンググループ

リーダー 高橋 宏昭 (博報堂DYメディアパートナーズ テレビスポットビジネス局局长)

サブリーダー 野村 直美 (アサツー ディ・ケイ メディア・ビジネス本部テレビ営業推進局メディアビジネス推進グループ専任局長)

福岡 大輔 (電通 ラジオテレビ局スポット業務部専任部長)

久保 学 (博報堂DYメディアパートナーズ テレビスポットビジネス局スポット1部部长)

メンバー 須賀 学 (I&S BBDO 統合メディアバイイングチーム1メディアマネージャー)

遠藤 龍 (朝日広告社 ラジオテレビ部部长)

柳澤 貴志 (ジェイアール東日本企画 メディア局テレビラジオ部長)

鳥塚 恵介 (東急エージェンシー メディア本部メディアソリューション局営業推進部担当部長)

濱家 大輔 (フロンテッジ メディア・コンテンツ部門メディアプロデュースGマスメディアチーム)

山内 健史（マッキンゼーエリクソン 媒体本部業務統括局業務部主任）

⑩個人向け無担保ローンCMに関する共通認識について

消費者金融CMに関する在京テレビ5社連絡会より、平成27年8月に制定した「個人向け無担保ローンCMに関する運用ルール」に付随した、児童・青少年へ配慮したタレント広告の取り扱いに関する注意喚起を含めた「個人向け無担保ローンCMに関する共通認識」について、改訂説明があり、情報共有をした。

説明者：＜消費者金融CMに関する在京テレビ5社連絡会＞

小野 直子（日本テレビ放送網 営業局CM部長）

八幡 泰光（テレビ朝日 営業局CM部長）

石井 明夫（TBSテレビ 営業局CM部長）

木村 伸吉（テレビ東京 営業局業務推進センター営業戦略部CM担当部長）

葛城 充信（フジテレビジョン 営業局営業管理センター CM部長）

⑪放送確認書の更なる精度向上を目的とした放送確認ワーキンググループによる活動

1) 平成27年度下期「放送確認書誤記載」結果報告

放送確認ワーキンググループによる調査を実施し、7月27日開催のテレビ広告懇談会にて日本民間放送連盟に報告し、注意喚起を要請した。

● 調査参加会社：放送確認ワーキンググループ15社

I&SBBDO、アサツー ディ・ケイ、朝日広告社、オリコム、ジェイアール東日本企画、デルフィス、電通、電通ヤング・アンド・ルビカム、東急エージェンシー、日本経済社、博報堂DYメディアパートナーズ、ビデオプロモーション、フロンテッジ、毎日広告社、マッキンゼーエリクソン

● 調査期間：平成27年10月～平成28年3月（6ヵ月間）

● 調査局数：127局

● 調査結果：番組 82件（「広告主名の誤記載」が最も多く、広告会社の広告主名決定情報の連絡不備によるケースもあり。）

スポット115件（人的作業ミスによる「広告主名の誤記載」「契約名の誤記載」件数が依然多い。）

2) 平成28年度上期「放送確認書誤記載調査」結果報告

放送確認ワーキンググループによる調査を実施し、1月18日開催のテレビ広告懇談会にて日本民間放送連盟に報告し、注意喚起を要請した。

● 調査参加会社：放送確認ワーキンググループ15社

I&SBBDO、アサツー ディ・ケイ、朝日広告社、オリコム、ジェイアール東日本企画、デルフィス、電通、電通ヤング・アンド・ルビカム、東急エージェンシー、日本経済社、博報堂DYメディアパートナーズ、ビデオプロモーション、フロンテッジ、毎日広告社、マッキンゼーエリクソン

● 調査期間：平成28年4月～9月（6ヵ月間）

● 調査局数：127局

- 調査結果：番組 69件（「広告主名の誤記載」は最も多かった。「放送はしたが確認書記載もれ」が、リオ五輪や熊本地震に伴う緊急報特で多く発生。）
スポット114件（「広告主名誤記載」「契約名誤記載」が全体の約85%を占め、原因は全て人的作業ミス。熊本地震関連のミスも多かった。）

⑫テレビ広告取引に関する民放連・業協懇談会（テレビ広告懇談会）

日本民間放送連盟・業務対策小委員会在京テレビ5社委員と当協会・テレビ小委員会で、テレビ広告に関連した諸課題について、意見交換をした。

[平成28年7月27日]

1. 平成27年度下期「放送確認書誤記載調査」結果報告
2. CM素材のオンライン運用に関する検討について
3. 字幕付きCMの普及促進について
4. いわゆる“有事”のCMの扱いについて
5. 業協「オーディエンスデータワーキンググループ」の設置について

[平成29年1月18日]

1. 平成28年度上期「放送確認書誤記載調査」結果報告
2. CM素材のオンライン運用に関する検討について
3. 字幕付きCMの普及促進について
4. いわゆる“有事”のCMの扱いについて
5. 動画広告フォーラムの実施について

⑬共通コード管理センター発番普及促進について

「広告事業者コード」の発番普及促進を共通コード管理センターと推進した。

■発番件数 48,537社（平成29年3月31日現在）

※参考：46,766社（平成28年3月31日現在）

(3) ラジオ小委員会（委員長：大木 秀幸）

①委員の交替等

■交替

小島 一洋（アサツー ディ・ケイ）

→ 南 庸子（同社 ラジオ局ラジオチームチームリーダー）

湯澤 大介（朝日広告社）

→ 遠藤 龍（同社 メディア本部メディア第2局ラジオテレビ部部长）

財津研太郎（マツキャンエリクソン）

→ 戸邊 雅人（同社 媒体本部媒体局2部部长）

■副委員長の互選

- 副委員長：南 庸子（アサツー ディ・ケイ）

②radikoについて

ラジオ番組の聴取時間の拡大・コンテンツリーチの拡大を目的に、ラジオ番組放送後1週間に限り、番組単位3時間制限で、いつでも後から聴取が可能な無料サービス、radikoのタイムフリー聴

取機能の平成28年10月導入について、報告を受けた。

③ラジオCM取引及び素材運用のデジタル化実現に向けた活動

日本民間放送連盟ラジオCM運行部会と合同のワーキンググループで、ラジオCMのオンライン運用の平成29年4月開始を目標に検討を行った。平成28年4月、ラジオCMオンラインの運用の理解をはかるために、「ラジオCM素材搬入基準【2015年9月版】」とCM進行表で使用する用語統一定義を、当協会ホームページに掲載した。

ラジオCM素材搬入基準」は、改訂作業を行い、チャック情報、CM進行表の新規フォーマット、オンライン送稿システム仕様書等の検討を行い、「ラジオCM素材搬入基準2017年版案」を、11月に両団体にて承認し、平成29年4月に適用することとした。

ラジオCMオンライン運用のシステム「Radi Pos」利用による技術検証確認を行いつつ、日本ポストプロダクション協会ラジオCMオンラインワーキンググループへ協力を依頼し、オンライン準備のためのクローズテストを実施した。ラジオCM素材のオンライン運用の送稿事業については、広告EDIセンターに参画を依頼し、8月に了承を得た。

ラジオCMオンライン運用の放送局への周知については、末澤ワーキンググループリーダーを講師として、11月17日、第39回全国ラジオCM責任者会議（函館開催）、12月6日、3月22日、日本民間放送連盟主催「ラジオCMオンライン運用に関するラジオ全社説明会」に派遣した。また、当協会主催の広告会社を中心とした周知説明会は、下記の通り開催した。

■「ラジオCMオンライン運用に関する説明会」

- 日 時：平成28年12月5日（月）
1回目 13時～14時30分 2回目 15時～16時30分
- 場 所：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- 挨拶：大木 秀幸（日本広告業協会 ラジオ小委員会委員長）
- スピーカー：中村 広明（日本民間放送連盟 ラジオCM運行WG主査）
末澤 淳（日本広告業協会 ラジオ小委員会ラジオCM運行WGリーダー）
- 参加者：145名（当協会会員社、JPPA会員社）

■「ラジオCMオンライン運用に関する説明会」

- 日 時：平成29年3月7日（火）10時～11時30分
- 場 所：銀座キレイが丘 5F—B会議室
- 挨拶：大木 秀幸（日本広告業協会 ラジオ小委員会委員長）
- スピーカー：末澤 淳（日本広告業協会 ラジオ小委員会ラジオCM運行WGリーダー）
井上 聡（日本広告業協会 ラジオ小委員会ラジオCM運行WG）
中川 享規（広告EDIセンター 管理部長）
- 参加者：191名（当協会会員社、JPPA会員社）

■「ラジオCMオンライン運用に関する説明会」（大阪）

- 日 時：平成29年3月14日（火）13時30分～15時
- 場 所：電通関西支社 12Fホール
- 挨拶：松本 卓哉（日本広告業協会 ラジオ小委員会副委員長）

- スピーカー：末澤 淳 (日本広告業協会 ラジオCM運行WGリーダー)
井上 聡 (日本広告業協会 ラジオCM運行WG)
中川 享規 (広告EDIセンター 管理部長)

- 参加者：97名 (放送局、広告会社、制作会社)

■「ラジオCMオンライン運用に関する説明会」(名古屋)

- 日 時：平成29年3月17日(金) 10時～11時30分
- 場 所：栄ガスビル 栄ガスホール5F
- 挨拶：伊藤 雄介 (日本広告業協会 ラジオ小委員会委員)
- スピーカー：末澤 淳 (日本広告業協会 ラジオCM運行WGリーダー)
井上 聡 (日本広告業協会 ラジオCM運行WG)
中川 享規 (広告EDIセンター 管理部長)

- 参加者：87名 (放送局、広告会社、制作会社)

4月のラジオCMオンライン実運用開始に向け、日本民間放送連盟101局の利用申込から登録の対応が3月中に完了予定、広告会社は当協会ワーキンググループメンバーが先行して利用申込・登録を行った。登録放送局にはオープンテストを予定し、今後の利用申込社には、広告EDIセンターWebサイトのラジオCMオンライン送稿システム「Radi Pos」利用申込方法のPRを行った。

(4) 新聞小委員会 (委員長:東末 吉史)

①委員の交替

難波 秀幸 (I&S BBDO)

→ 山崎 久樹 (同社 メディアグループ統合メディアバイイングメディアディレクター)

月野木麻里 (東急エージェンシー)

→ 平澤 俊哉 (同社 メディア本部新聞・雑誌局局長)

財津研太郎 (マッキンゼーエリクソン)

→ 佐野好市郎 (同社 媒体本部媒体局局長)

②新聞広告掲載確認調査の実施

◇第三者機関のモニタリング調査による掲載確認の実施

■概要

第三者機関を選定し、年2回(半期に1回)で日本新聞協会加盟新聞社の全紙・全版を調査。指定広告主の広告が、指定調査日発行の新聞の全版(初版～最終版)に掲載されているかを確認する。

なお、確認ターゲット広告及び実施日については当協会を選定。第三者機関として、エム・アール・エス広告調査株式会社(MRS)を選定。

■結果

日本新聞協会加盟紙を対象に2回実施し、全てにおいてMRSより、「照合ができ、不掲載無し」との報告を受け、その後、日本アドバタイザーズ協会、日本新聞協会にレポートを提出した。また、会員社に報告を行った。

[調査結果]

■ 第1回 (7月度)

- 調査実施日：平成28年7月6日(水)
- 調査対象：全国紙、ブロック紙、地方紙、スポーツ紙、専門紙・夕刊紙 175紙・298版
- 調査対象広告(確認ターゲット)数：577
- 調査実施機関：エム・アール・エス広告調査
- 調査結果：掲載が確認できなかった広告…なし
- 報告発表：8月29日、日本アドバイザーズ協会・日本新聞協会
10月17日、当協会会員全社に対して報告した。

■ 第2回 (2月度)

- 調査実施日：平成29年2月22日(水)
- 調査対象：全国紙、ブロック紙、地方紙、スポーツ紙、専門紙・夕刊紙 174紙・294版
- 調査対象広告(確認ターゲット)数：568
- 調査実施機関：エム・アール・エス広告調査
- 調査結果：掲載が確認できなかった広告…なし
- 報告発表：3月29日、日本アドバイザーズ協会
3月30日、日本新聞協会
4月12日、当協会会員全社に対して報告した。

◇日本新聞協会加盟新聞社からの報告書の提出

■ 概要

日本新聞協会に対し、加盟新聞社(104社およびデイリースポーツ)の前月広告掲載全般に関しての掲載報告書の提出を要請し了承された。

掲載報告書は毎月、日本新聞協会を通じて新聞小委員会に提出され、その後日本アドバイザーズ協会に写しを提出した。

■ 結果

日本新聞協会より、「平成28年4月度～平成29年3月度において掲載確認に問題無し」との掲載報告書が提出され、日本アドバイザーズ協会に提出した。なお、掲載報告書は、各新聞社、日本新聞協会・広告委員会、日本広告業協会・新聞小委員会にて1年間保管することとしている。

③新聞広告に関わる業界の課題研究、検討

1) NSAC2017(日本新聞アドカラー)について

日本新聞協会「NSAC2016更新作業チーム」は、製作機器の老朽化をうけ、NSACキットの更新を実施、今後の普及に向け、現行の新聞印刷技術に適したNSAC2017の色改訂基準の報告説明を受けた。

2) 新聞小委員会と日本新聞協会「広告常任委員会」との意見交換会

新聞広告ビジネスの活性化のため、日本新聞協会が実施している「全国メディア・接触評価調査」を広告会社の視点を加えた有効なデータとして活用すべく、プロジェクトチームを組織した。

日本新聞協会「広告常任委員会」より、「新聞広告の効果的なプロモート策」の検討の申し出

があり、当小委員会は、日本新聞協会「全国メディア接触・評価調査」のデータ分析をベースとした方向性を説明し、意見交換を行った。

■意見交換会

- 日 時：平成28年10月20日（木）11時～12時
平成29年 1月20日（金）13時～14時
- 場 所：日本新聞協会・会議室
- 参加者：＜日本新聞協会「広告常任委員会」＞
 - 委員長 松田 陽三（読売新聞東京本社 常務取締役広告担当）
 - 副委員長 飯田 義典（東京新聞 広告局長）
 - 納 幸一郎（産経新聞東京本社 営業局長）
 - 児玉 真路（大分合同新聞社 執行役員営業局長）
 - 委 員 金山 達也（朝日新聞社東京本社 メディアビジネス局長）
 - 小野 博宣（毎日新聞社東京本社 広告局長）
 - 鈴木 克之（日本経済新聞社 常務執行役員クロスメディア営業局長）
 - 佐藤 剛（北海道新聞社 取締役広告局長）
 - 東海林 仁（河北新報社 営業局長）
 - 知久 昌樹（静岡新聞社 営業局長兼業務部長）
 - 石田 一西（信濃毎日新聞社 取締役広告局長）
 - 雑賀 和美（京都新聞社 京都新聞COM営業局長）
 - 谷 正典（神戸新聞社 執行役員営業局長）
 - 木原 慎二（中国新聞社 執行役員広告局長）
 - 谷川 哲也（愛媛新聞社 営業局長）
 - 坂井 裕志（西日本新聞社 取締役兼広告局長）

(5) 雑誌小委員会（委員長：大井 淳司）

①委員の交替

- 難波 秀幸（I&S BBDO）
 - 山崎 久樹（同社 メディアグループ統合メディアバイイングメディアディレクター）
- 高橋 秀文（電通）
 - 岡部 道彦（同社 出版ビジネス・プロデュース局局長補）
- 財津研太郎（マクキャンエリクソン）
 - 神部 恵子（同社 媒体本部媒体局3部部长）

②副委員長の互選

- 副委員長：岡部 道彦（電通）

③雑誌広告デジタル送稿推進協議会報告

1) 加入促進活動について

日本雑誌協会、日本雑誌広告協会並びに当協会で構成する「雑誌広告デジタル送稿推進協議会」が推進する、雑誌純広告のオンライン送稿について、平成28年4月から新規加入ユーザー対

象キャンペーンを未導入社に対して実施中、との説明を受けた。

- キャンペーン内容：サービス利用開始月から月額基本料金を無料〔4月～9月（6ヵ月間）／10月～12月（3ヵ月間）〕

2) 雑誌広告オンライン送稿の進捗状況報告

広告会社から出版社へ送るPS（ページストア）の送稿本数が平成28年1月から12月まで合計13,820本、対前年比が1.14倍。なお、オンライン送稿システム未導入社に働きかけ、東洋経済新報社・日之出出版2社が導入し、平成29年1月現在、広告会社19社、出版社29社、制作／製版会社35社が、オンラインを導入しているとの報告があった。

④第3回雑誌広告効果測定調査「M—VALUE（エム・バリュー）」について

メディア調査研究小委員会と合同で、第3回雑誌広告効果測定調査「M—VALUE（エム・バリュー）」について、日本雑誌協会・日本雑誌広告協会・ビデオリサーチより、ヒアリングを行った。

第3回目の調査は、広告会社6社が参加・協賛し、出版社23社36誌、693素材を対象に実施し、出稿条件による広告効果の広告接触率・広告注目率・広告精読率など効果測定指標の推定値の算出とともに、効果的なクリエイティブ指標とビークルなどの測定も可能となった旨、報告を受けた。

(6) 交通広告小委員会（委員長：小野寺忠之）

①委員の交替他

長屋 和男（オリコム）

→ 岩崎 真紀（同社 取締役OOHメディア本部長）

■補充

阿部 和美（メトロアドエージェンシー 営業本部営業推進局長）

②交通広告セミナーの開催

第5回のセミナーを開催した。

- 日 時：平成28年11月1日（火）14時～16時
- 場 所：コートヤード・マリオット銀座東武ホテル 龍田の間
- テーマ：関東交通広告協議会各社局が語る「交通広告の来期以降の展望」
- プログラム：1) 基調講演：「首都圏11社局“中づりドリームネットワークセット”の開発経緯と今後の交通広告について」

講 師：橋 修（ジェイアール東日本企画 常務取締役交通媒体本部長）

- 2) パネルディスカッション：「開発担当者が語る今後の各社局の取組や話題から、これからの交通広告をひも解く」

モデレーター：鍋島 義博（TOMOE メディアプロモーション局長）

パネリスト：関東交通広告協議会加盟社局 メディア開発担当者11社局12名
 笠野 大（京急アドエンタープライズ 交通メディア局統括マネージャー）
 金沢 一幸（メトロアドエージェンシー 媒体本部媒体戦略局戦略企画部長）
 長島 亮司（京成エージェンシー 交通媒体部次長）
 手老 善（西武鉄道 沿線事業企画部主任）
 甲斐美由紀（小田急エージェンシー 交通・メディア局交通広告部）

由井 永幸(東急エージェンシー 東急OOH局東急OOHメディア部スーパーバイザー)

宮本 守(ジェイアール東日本企画 交通媒体本部交通媒体局メディア営業部担当部長)

千台久美子(東京都交通局 資産運用部事業開発課課長)

石井 正道(相模鉄道 営業部営業企画課課長代理)

荒井 道雄(東武鉄道 SC事業部課長補佐)

宇城 知恵(京王電鉄 鉄道営業部営業企画課課長補佐)

廣川 浩之(京王エージェンシー 交通広告事業部課長)

- 参加者：162名(46社)

③交通広告共通指標推進プロジェクトについて

日本鉄道広告協会、関東交通広告協議会並びに当協会3団体による「交通広告共通指標推進プロジェクト」は、平成28年度は交通広告効果をより明確に示す共通指標として、車両メディアの「中づり」「中づり<出版>」「まど上」「ドア横」「ステッカー」「ビジョン」の6ユニットの「業種分類」をより細分化し精度向上をはかるとともに、「駅メディア」の共通指標化への取り組みを開始した。また、今年度開始した「駅メディア」は、対象駅スポット通行者の「駅ポスター」等の広告到達率等を調査し、広告到達率が70%以上との結果を得た。

- 報告者：星野 雅央(交通広告共通指標推進プロジェクト代表幹事)
中野 雅之(JAAA交通広告ワーキンググループリーダー)
小林 勝己(ビデオリサーチ 営業局局付局長)

(7) インターネット広告小委員会(委員長:植村 祐嗣)

①委員の交替他

大堀 益弘(博報堂DYメディアパートナーズ)

→ 竹林 真人(同社/博報堂DYデジタル取締役CMO)

千賀 由久(マクキャンエリクソン)

→ 金子 一秀(同社 媒体本部デジタル局部長)

■補充

早田 眞(電通 デジタルプラットフォームセンター局長補兼業務統括部長)

■退任

植村 祐嗣(電通)

小高 治正(博報堂DYメディアパートナーズ)

②委員長・副委員長の互選

- 委員長：竹林 真人(博報堂DYメディアパートナーズ/博報堂DYデジタル)
- 副委員長：早田 眞(電通)

③インターネット広告に関する情報収集とナレッジシェア

1) オンライン広告の共通指標の整備・中間報告について

平成27年11月から平成28年4月に実施した、第3回目のビデオリサーチのWeb調査「オンライン広

告の認知効果の基準値整備調査」の進捗報告があり、意見交換を行った。今回の調査にて、レクタングル広告以外の「ビルボード広告」「ウォールペーパー広告」「インストリーム広告」の「心理変容・態度変容」の標準値の算出がより可能になった。

<調査概要>

調査方法：PCインターネット調査

調査期間：平成25年9月～26年3月、平成26年7月～27年3月、平成27年11月～28年4月
(原則毎月1回)

調査対象者：日本全国の20～69歳PCインターネットユーザー

調査回答者数：各回5,000サンプル

調査方法：1) 広告到達量の算出、2) アンケート調査

2) 会員社向けインターネット広告セミナー

下記の通り、インターネット広告の強化を目標としたセミナーを開催した。

第3回「ネット広告・基本セミナー」

- 日 時：平成29年3月23日(木) 15時～16時30分
- 場 所：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- 講 師：竹林 真人(博報堂DYメディアパートナーズ/博報堂DYデジタル)
伊達 学(サイバーエージェント)
中野 宣幸(オプト)
- プログラム：1) Web広告の種類と歴史
2) ディスプレイ広告の歴史と進化
3) 最近のトピックス
- 参加費：無料
- 参加者：44名(25社) 前回 44名(17社)

④ デジタルマーケティング領域における広告会社のプレゼンスアップ

アドテック東京2016「JAAAスポンサードワークショップ」にて、9月21日、以下のプレゼンテーションを提供した。

- 日 時：平成28年9月21日(水) 17時～17時40分
- 会 場：東京国際フォーラム 展示ホール
- テーマ：「次世代型アドマン！」
～ I am a PERFECT ADMAN いま、アドマンに求められること。～
- モデレーター：中野 宣幸(オプト 執行役員)
- パネラー：森崎 彩(アイレップ 第1ATD本部 第2ATDグループATD第1チームマネージャー)
島田 元基(アサツー ディ・ケイ デジタルビジネス本部プランナー)
細川 優(朝日広告社 デジタルソリューション局1メディアプロモーション部)
久保田航平(オプト オンラインビデオアドソリューション部)
濱田 晃希(オリコム 企画制作本部デジタルソリューション局デジタルメディア部)
櫻井 有気(広告社 東日本営業統括部 東京営業3部)

有賀 翔平 (サイバーエージェント インターネット広告事業本部次世代ブランド戦略室)
高木 皓平 (セブテーニ クリエイティブ部プロデューサー)
野口紗知子 (電通 デジタルプラットフォームセンター プランナー)
和田 桜 (東急エージェンシー デジタルコミュニケーション局デジタルアクティベーション部)
大根田 薫 (日本経済社 第3営業局第2営業部)
豊福裕彌奈 (博報堂DYメディアパートナーズ/博報堂DYデジタル メディア・プランニング・ユニッ
ト アシスタントメディアプランナー)
小林 令奈 (マクキャンエリクソン UM プランナー)

- 展 開：Facebook (JAAA、アドテック東京)
- 参加者：170名

(8) メディア調査研究小委員会 (委員長: 牧野 聡)

①委員の交替

藤原 将史 (博報堂DYメディアパートナーズ)
→ 河村 徹生 (同社 メディアビジネス開発センターメディア・コンテンツマーケティング部長)

②「現行視聴率調査にかかわる検討会」報告

3月31日、日本民間放送連盟、日本アドバタイザーズ協会並びに当協会3団体で構成する同検討会にて、ビデオリサーチより、「定期報告事項」「平成28年度に予定している現行視聴率調査の変更(拡充)」について、以下の概要説明を受けた。

◆ビデオリサーチ ヒアリング項目

○定期報告事項

- データチェック (テストラン) 期間中の脱落
- 個人ボタンの負担感 (ボタン押しの正確さ調査結果)
- 応諾率と応諾率向上策
- 測定機の定期点検
- 有効・無効率の状況と原因 (600サンプルに満たない場合)
- ローテーション数、サンプル交換数とその理由
- 不正干渉確認調査
- サンプル漏洩の実態
- 期間内のトラブル報告と対応策
- 不正アクセス対応
- 公表データの付帯情報併記の徹底、誤った記事等への対応

○平成28年度に予定している現行視聴率調査の変更(拡充)について

③世帯数データのシステムへの反映について

住民基本台帳の更新による各社の世帯数データのシステムへの反映予定について、情報共有をした。

④第3回雑誌広告効果測定調査「M-VALUE」について

雑誌小委員会と合同で、第3回雑誌広告効果測定調査「M-VALUE」について、日本雑誌協

会・日本雑誌広告協会・ビデオリサーチより、説明を受けた。

⑤ビデオリサーチ調査について

ビデオリサーチのテレビの視聴環境をめぐる新しい指標やサービス（「R&F++」「データフュージョン」「VR CUBIC」等）について、詳細説明を受けた。

また、「海外におけるテレビ広告市場の最新動向」について、アメリカとイギリスのテレビ・動画広告市場動向を中心に、「プログラマティックプランニング」の状況等、説明を受けた。

⑥「放送をめぐる諸課題」について

電通総研より、「『ライブ性』から放送とネット配信の関係を考える」をテーマに生活者の動画視聴をめぐる論点として「ライブ配信」と「大画面」をキーワードに、各種データから読み取れる兆しと今後の調査課題について、説明を受けた。

⑦メディア調査に関する資料の送付

会員社へ下記資料等をメール送信した。

◇「BS全国視聴データ」結果広報資料・報告

- | | | | |
|--------------|------------|--------------|------------|
| ・平成28年 5月 6日 | …2016年 4月度 | ・平成28年 5月27日 | …2016年 5月度 |
| ・平成28年 6月30日 | …2016年 6月度 | ・平成28年 7月29日 | …2016年 7月度 |
| ・平成28年 8月26日 | …2016年 8月度 | ・平成28年10月 3日 | …2016年 9月度 |
| ・平成28年10月28日 | …2016年10月度 | ・平成28年12月 2日 | …2016年11月度 |
| ・平成29年 1月 6日 | …2016年12月度 | ・平成29年 1月27日 | …2017年 1月度 |
| ・平成29年 3月 6日 | …2017年 2月度 | | |

◇「BS世帯普及率調査」結果広報資料・報告

- ・平成29年10月11日 …2016年3月・6月度

【3】クリエイティブ委員会（担当理事：中田 安則 委員長：能登 健裕）

【1】小委員会の活動

（1）著作権小委員会

「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への対応として、広告会社を含めた各プレイヤーの権利課題を検討した。

（2）制作取引小委員会

「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への対応として、制作会社・ポスプロ業界との対応、また、正副理事長「特別委員会」の「働き方改革」について、制作サイドの検討をした。

【4】広告料金表の発行

（1）新聞広告料金表の発行

◇2016年上期版

- 発行日：平成28年6月1日

- 版 形：B6判 268ページ
- 価 格：会員 864円 一般 1,620円
- 部 数：3,000部

◇2016年下期版

- 発 行 日：平成28年12月1日
- 版 形：B6判 268ページ
- 価 格：会員 864円 一般 1,620円
- 部 数：3,000部

(2) 放送広告料金表2016年版の発行

- 発 行 日：平成28年8月1日
- 版 形：B6判 359ページ
- 価 格：会員 1,080円 一般 2,160円
- 部 数：2,100部

5

関係団体への参加・協力、他

【1】全国広告業団体連絡会議

(1) 全国広告業団体連絡会議・平成27年度後期情報連絡会

4月28日、加盟25団体の内20団体が参加して開催、各地の景気状況、広告業界の動向など情報交換を行った。

景気状況は、全般に「穏やかな回復基調が続いているが、力強さがない」との報告が多くを占めた。

広告業界については、各地のテレビ・ラジオ広告などメディアの売上は、対前年比100%前後の横這いの状況報告が多かった。また、各協会活動では、新たな会員社向けセミナーの開催の取り組みなど、業界団体の活性化の動きが報告された。

また、以下の課題について情報交換を行った。

◇オンライン運用の仕組みと導入に向けたスケジュール

◇重大な事象発生時のテレビジョン放送に関して

(2) 平成28年度前期情報連絡会

10月7日、加盟25団体の内20団体が参加して開催、各地の景気状況、広告業界の動向等情報交換を行った。

景気状況は、全体的には「穏やかな回復基調」にあるが、北海道・東北・熊本をはじめ、自然災害等による影響で景気の停滞感のある地域の報告もあった。

広告業界については、北海道・仙台・秋田・栃木・長野・名古屋・当協会と、広告団体として、広告の価値向上・協会のPRのための活発な「広告」活動の報告があった。

また、以下のテーマで情報交換を行った。

◇「CMオンライン運用の仕組みと2017年10月導入に向けたスケジュール」について

◇ラジオCM素材オンライン運用について

(3) 平成28年度理事会・通常総会

前期連絡会終了後、17時30分より帝国ホテル・3階・舞の間で、加盟25団体の内18団体が参加して開催、以下の議案について承認した。

第1号議案 平成27年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

第2号議案 平成28年度会費一部免除の件

第3号議案 平成28年度事業計画案並びに収支予算案承認の件

第4号議案 役員改選の件

〈平成28年・平成29年度役員〉

会 長 石井 直 (一般社団法人日本広告業協会・理事長)

専務理事 村井 知哉 (一般社団法人日本広告業協会・専務理事)

理 事 井上 幸三 (一般社団法人北海道広告業協会・会長)

理 事 谷 尚樹 (名古屋広告業協会・幹事長)

理 事 岩井 秀一 (一般社団法人大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会・理事長)

理 事 増田 稔 (九州広告業協会・会長)

監 事 加藤 昌幸 (福島県広告業協会・会長)

監 事 和納 勉 (広告業協同組合・理事長)

(4) 全国広告業団体連絡会議の現勢 (平成28年8月末現在)

・加盟団体=25団体 [会員総数 846社]

北海道広告業協会	[会員= 37社]	青森県広告業協会	[会員= 12社]
岩手県広告業協会	[会員= 18社]	仙台広告業協会	[会員= 30社]
秋田県広告業協会	[会員= 20社]	山形県広告業協会	[会員= 20社]
福島県広告業協会	[会員= 21社]	栃木県広告業協会	[会員= 15社]
とやま広告業協会	[会員= 18社]	福井県広告業協会	[会員= 11社]
長野県広告業協会	[会員= 32社]	岐阜県広告業協会	[会員= 16社]
静岡県広告業協会	[会員= 38社]	名古屋広告業協会	[会員= 48社]
京都広告業協会	[会員= 20社]	大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会	[会員= 74社]
しまね広告業協会	[会員= 14社]	岡山県広告業協会	[会員= 32社]
山口県広告業協会	[会員= 18社]	九州広告業協会	[会員= 27社]
熊本県広告業協会	[会員= 30社]	鹿児島県広告業協会	[会員= 26社]
新聞案内広告協会	[会員= 16社]	広告業協同組合	[会員=107社]
日本広告業協会	[会員=148社]		

[2] 協賛・後援名義の許諾

(1) 宣伝会議「AdverTimes DAYS 2016」…協力

- 主 催：宣伝会議

- 会 期：平成28年4月12日（火）～13日（水）
- 会 場：東京国際フォーラム 展示ホール
- 内 容：セミナー、展示会

(2) 平成28年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」…協賛

- 主 唱：内閣府
- 参 加：内閣府、警察庁、金融庁、消費者庁、復興庁、総務省、法務省、最高検察庁、外務省、財務省、国税庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、最高裁判所、都道府県、市区町村
- 期 間：平成28年7月1日（金）～31日（日）までの1ヵ月間

(3) 第46回「日本プロモーション・マーケティング協会展」…協賛

- 主 催：一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会
- 会 期：平成28年9月27日（火）～29日（木）＜3日間＞
- 会 場：東京都立産業貿易センター（台東館）6・7階
- 内 容：▶JPMクリエイティブ・ソリューション・アワード
▶JPMプランニング・ソリューション・アワード
▶GPA (Goodwill Promotion Alliance) アワード
▶見本市
▶協会展セミナー
▶「買い場展開ツール」デザインコンペティション

(4) デジタルサイネージ ジャパン2016…後援

- 主 催：デジタルサイネージジャパン実行委員会
- 会 期：平成28年6月8日（水）～10日（金）
- 会 場：幕張メッセ
- 内 容：カンファレンス、展示会、デモンストレーション企画

(5) 「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」啓発推進月間におけるポスター…名義記載

- 主 催：大阪府府民文化部人権局
- 内 容：10月「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」啓発推進月間に使用するポスター
- 掲載期間：平成28年10月1日（土）～31日（月）

(6) ad : tech & ad stars …後援

- 主 催：コムエクスポジウム・ジャパン
- 会 期：平成28年8月26日（金）～27日（土）
- 会 場：BEXCO in 釜山（韓国）

(7) 宣伝会議「AdverTimes DAYS 2017」…協力

- 主 催：宣伝会議
- 会 期：平成29年4月26日（水）～27日（木）

- 会 場：東京国際フォーラム 展示ホール
- 内 容：セミナー、展示会

(8) Advertising Week Asia 東京 …後援

- 主 催：Stillwell Partners/日本事務局イグナイト
- 会 期：平成29年5月29日(月)～6月1日(木)
- 会 場：六本木エリア

(9) ad : tech tokyo 2017 …後援

- 主 催：コムエクスポジウム・ジャパン
- 会 期：平成29年10月17日(火)～18日(水)
- 会 場：東京国際フォーラム

(10) ad : tech kansai 2017 (アドテック京都、アドテック神戸、アドテック関西) …後援

- 主 催：コムエクスポジウム・ジャパン
- 会 期：平成29年7月18日(火)～20日(木)
- 会 場：京都・神戸・大阪

(11) 日本広告学会「クリエイティブ・フォーラム2017」 …後援

- 主 催：日本広告学会クリエイティブ委員会
- 日 時：平成29年5月13日(土)
- 会 場：青山学院アスタジオ(渋谷区神宮前5-47)
- テ ー マ：広告クリエイティブの現在・過去・未来

[3] その他

(1) 平成29年広告界合同年賀会

広告関係31団体共催による合同年賀会を下記の通り開催した。

- 日 時：平成29年1月6日(金) 15時30分～17時
- 会 場：帝国ホテル・2階・孔雀の間
- 参 加 者：1,697名
- 共催団体：全日本広告連盟、日本アドバイザーズ協会、日本新聞協会、日本民間放送連盟、日本雑誌協会、日本雑誌広告協会、日本広告業協会、日本ABC協会、日本広告審査機構、日本マーケティング協会、日本マーケティング・リサーチ協会、日本パブリックリレーションズ協会、日本アド・コンテンツ制作協会、日本プロモーション・マーケティング協会、日本広告制作協会、日本BtoB広告協会、IAA日本国際広告協会、ACジャパン、広告業協同組合、新聞案内広告協会、東京屋外広告協会、全日本シーエム放送連盟、日本屋外広告業団体連合会、日本サイン協会、日本インタラクティブ広告協会、日本生活情報紙協会、衛星放送協会、広告審査協会、日本鉄道広告協会、日本新聞折込広告業協会、日本イベント産業振興協会

平成28年度会員社一覧(144社)

(平成29年3月31日現在)

(株)I & S B B D O	(株)京王エージェンシー	(株)大広メディアックス	(株)博 報 堂
(株)アイプラネット	(株)京急アドエンタープライズ	大 東 廣 告(株)	(株)博報堂DYホールディングス
(株)アイレップ	(株)京成エージェンシー	(株)タグ・ホールディングス	(株)博報堂DYメディアパートナーズ
(株)アサツーディ・ケイ	廣 告 社(株)	(株)中 央 ア ド 新 社	(株)ハッピーアワーズ博報堂
(株)朝日エージェンシー	(株)広 美	(株)中 外	(株)ハヤカワ・エージェンシー
(株)朝日オリコミ	(株)広 明 通 信 社	(株)中 日 ア ド 企 画	ビーコン コミュニケーションズ(株)
(株)朝日広告社	(株)国 連 社	(株)千 代 田 廣 告 社	(株)B B D O J W E S T
(株)アド電通大阪	(株)コスモ・コミュニケーションズ	(株)T & T ア ド	(株)B B D O J A P A N
(株)アド・ベスト	コ モ ン ズ(株)	(株)TBWA\HAKUHODO	(株)ビデオプロモーション
(株)アドベル	(株)サイバーエージェント	(株)D A サ ー チ & リ ン ク	(株)双 葉 通 信 社
(株)ADKインターナショナル	(株)産 案	(株)DGコミュニケーションズ	(株)フ ロ ン テ ッ ジ
(株)栄 光 社	(株)三 栄 廣 告 社	(株)デ ル フ ィ ス	(株)プライズコミュニケーション
(株)エイムクリエイツ	(株)S A N K O	(株)電広エイジェンシー	(株)ホ ー プ
(株)N K B	(株)三 晃 社	(株)電 通	(株)毎 日 廣 告 社
(株)H E L I O S	(株)三友エージェンシー	(株)電 通 ア ド ギ ア	(株)マッキンエリクソン
(株)E N J I N	(株)サ ン ラ イ ズ 社	(株)電 通 九 州	(株)松 本 廣 告
(株)オーエムシー	(株)三 和 廣 告 社	(株)電 通 西 日 本	(株)ム サ シ ノ 廣 告 社
(株)大手広告通信社	GMOアドパートナーズ(株)	(株)電 通 東 日 本	メディアエムジー(株)
オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン(同)	(株)ジェイアール東海エージェンシー	(株)電 通 北 海 道	(株)メ デ ィ ッ ク ス
(株)オゾンネットワーク	(株)JR西日本コミュニケーションズ	(株)電通名鉄コミュニケーションズ	(株)メトロアドエージェンシー
(株)小田急エージェンシー	(株)ジェイアール東日本企画	電通ヤング・アンド・ルビカム(株)	(株)モメンタム ジャパン
(株)オ プ ト	ジェイウォルター・トンプソン・ジャパン(同)	(株)東映エージェンシー	(株)山形アドビューロ
オリオン S P (株)	(株)JTBコミュニケーションデザイン	(株)東急エージェンシー	(株)大 和 通 信 社
(株)オリコム	(株)シ ネ ブ リ ッ ジ	(株)東京アドエージェンシー	(株)横 浜 メ デ ィ ア ア ド
(株)ガイアコミュニケーションズ	(株)シマ・クリエイティブハウス	(株)と う こ う ・ あ い	(株)読 売 I S
(株)キャンビット	(株)春 光 社	(株)東 興 社	(株)読売エージェンシー
(株)キョウエイアドインターナショナル	松 竹 ナ ビ(株)	(株)東 宣	(株)読売広告社
(株)協同エージェンシー	(株)昭 通	(株)T O M O E	(株)読売連合広告社
(株)共同広告社	(株)新 通	(株)内 藤 一 水 社	(株)ライダーズ・パブリシティ
(株)協同宣伝	(株)新 東 通 信	(株)西 広	(株)ワン・タワー・テン・デザイン
(株)京橋エージェンシー	(株)真 和	(株)西鉄エージェンシー	
協立広告(株)	(株)伸和エージェンシー	(株)ニ ッ ト ー	(社名50音順)
(株)協和企画	(株)スタンダード通信社	(株)日 本 経 済 廣 告 社	
(株)近 宣	(株)誠 通	(株)日 本 経 済 社	
(株)クオラス	(株)セ プ テ ー ニ	(株)日 本 廣 業 社	
(株)グリーンポートエージェンシー	(株)第 一 通 信 社	(株)日 本 廣 告 社	
(株)グレイワールドワイド	(株)大 広	(株)日 本 広 明 社	
(株)ケー・アンド・エル	(株)大 広 九 州	(株)日 本 ス タ デ オ	

平成28年度役員一覧

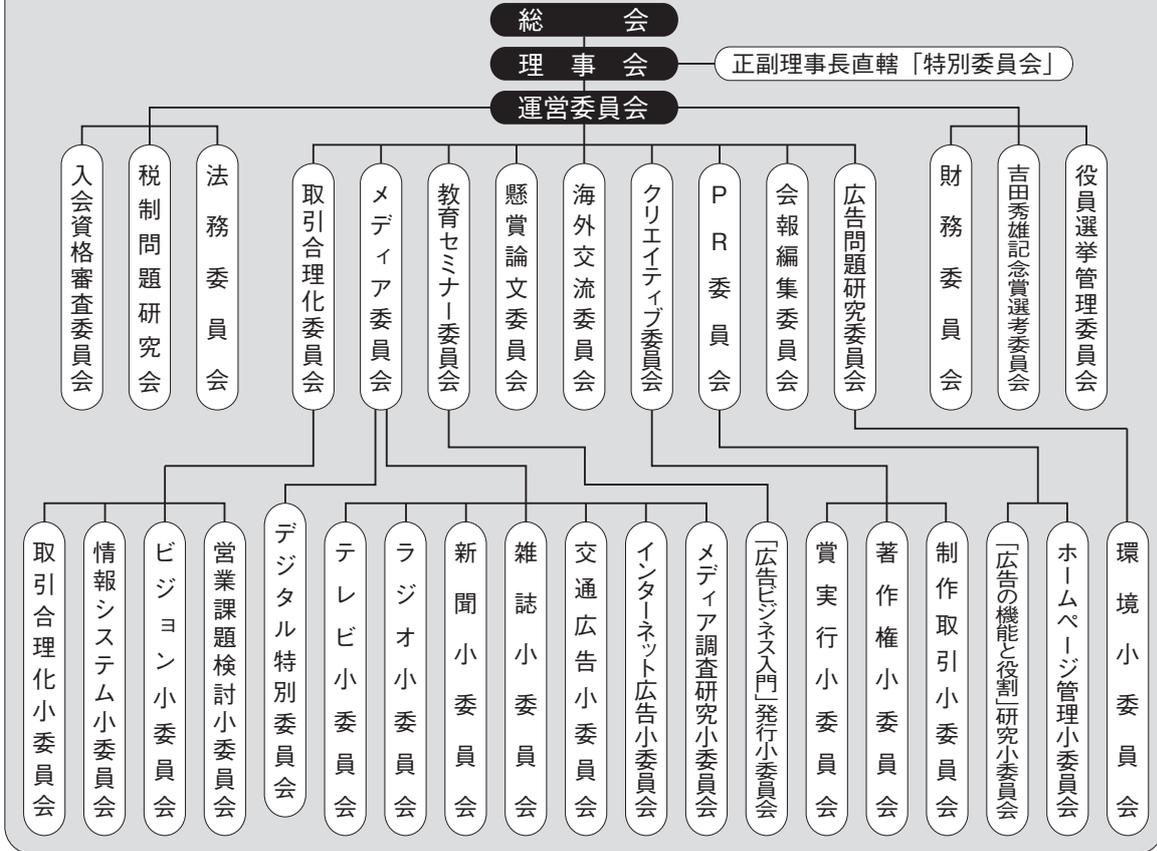
(平成29年3月31日現在) (敬称略)

会 長	高嶋 達佳	株式会社	電通	相談役
理 事 長	石井 直	株式会社	電通	顧問
副理事長	植野 伸一	株式会社	アサツー ディ・ケイ	代表取締役社長・グループCEO
	岩井 秀一	株式会社	大広	取締役会長
	成田 純治	株式会社	博報堂	取締役会長
専務理事	村井 知哉			
理 事	加藤 和豊	株式会社	I&S BBDO	代表取締役社長&CEO
	上田 周	株式会社	朝日広告社	代表取締役社長
	滝 久雄	株式会社	NKB	取締役会長創業者
	大塚 尚司	株式会社	オリコム	代表取締役社長
	山田 淳史	株式会社	協和企画	代表取締役社長
	加藤 雅己	株式会社	クオラス	代表取締役社長
	渋谷 由美	株式会社	グレイワールドワイド	代表取締役社長兼CEO
	川村 悌式	株式会社	三晃社	代表取締役会長
	阿久津光志	株式会社	ジェイアール東海エージェンシー	代表取締役社長
	原口 宰	株式会社	ジェイアール東日本企画	代表取締役社長
	阿部 榮人	株式会社	昭通	代表取締役社長
	巴 一 寿	株式会社	第一通信社	代表取締役社長
	中井 昌幸	株式会社	デルフィス	代表取締役社長
	南 晋一郎	株式会社	電通アドギア	代表取締役社長
	桑原 常泰	株式会社	東急エージェンシー	代表取締役社長
	鐘ヶ江輝久	株式会社	とうこう・あい	代表取締役会長
	神田橋 治	株式会社	TOMOE	代表取締役社長
	内藤 好徳	株式会社	内藤一水社	会長
	丹羽 信一	株式会社	日本経済広告社	代表取締役社長
	富田 賢	株式会社	日本経済社	代表取締役社長
	水野 俊作	株式会社	日本広告社	代表取締役社長
	戸田 裕一	株式会社	博報堂DYホールディングス	代表取締役社長
	大森 壽郎	株式会社	博報堂DYメディアパートナーズ	代表取締役社長
	関口 英明	株式会社	毎日広告社	代表取締役会長
	中田 安則	株式会社	読売広告社	代表取締役会長
監 事	湯澤 齐	広告社株式会社		代表取締役会長兼社長
	早川 浩	株式会社	ハヤカワ・エージェンシー	代表取締役社長
相 談 役	俣木 盾夫	株式会社	電通	相談役

【平成28年度各委員会委員】

平成29年3月現在

■ 委員会組織 ■



【正副理事長直轄「特別委員会」】

委員長 今泉智幸 博報堂
 委員 殿村良彦 アサツー ディ・ケイ
 楠山昌生 大広
 橋爪恒二郎 電通
 沼澤 忍 電通
 竹林真人 博報堂DYメディアパートナーズ/博報堂DYデジタル

【運営委員会】

委員長 植野伸一 アサツー ディ・ケイ
 委員 岩井秀一 大広
 高田佳夫 電通
 桑原常泰 東急エージェンシー
 鐘ヶ江輝久 とうこう・あい
 神田橋 治 TOMOE
 内藤好徳 内藤一水社
 丹羽信一 日本経済広告社
 成田純治 博報堂
 大森壽郎 博報堂DYメディアパートナーズ

委員 中田安則 読売広告社
 村井知哉 協会・専務理事

【入会資格審査委員会】

委員長 内藤好徳 内藤一水社
 委員 加藤和豊 I&S BBDO
 加藤 武 アサツー ディ・ケイ
 大塚 尚司 オリコム
 岩井秀一 大広
 中本祥一 電通
 丹羽信一 日本経済広告社
 西村 治 博報堂
 村井知哉 協会・専務理事

【税制問題研究会】

委員 矢内治伸 I&S BBDO
 宇野沢史紀 アサツー ディ・ケイ
 福島淳史 朝日広告社
 高橋弘光 オリコム

委員 野沢和彦 大広
 三宅 大 電通
 市之瀬和博 東急エージェンシー
 内藤好之 内藤一水社
 高橋明彦 日本経済社
 西岡正紀 博報堂DYホールディングス
 小島億一 読売広告社

〔法務委員会〕

委員長 永江 禎 電通
 委員 真栄田祐子 I&S BBDO
 久保田 直 アサツー ディ・ケイ
 野田佳也 朝日広告社
 吉山泰弘 廣告社
 清水秀哉 ジェイアール東日本企画
 古河崎敏夫 大広
 北川幸夫 東急エージェンシー
 高橋克幸 日本経済社
 増田 浩 博報堂
 木村知生 マッキンエリクソン
 竹村 護 読売広告社

特別委員会

〔財務委員会〕

委員長 植野伸一 アサツー ディ・ケイ
 委員 野沢和彦 大広
 中本祥一 電通
 鐘ヶ江輝久 とうこう・あい
 西岡正紀 博報堂
 村井知哉 協会・専務理事

〔吉田秀雄記念賞選考委員会〕

委員長 内藤好徳 内藤一水社
 委員 加藤 武 アサツー ディ・ケイ
 川村 悌 三晃社
 岩井秀一 大広
 中本祥一 電通
 鐘ヶ江輝久 とうこう・あい
 神田橋 治 TOMOE
 丹羽信一 日本経済広告社
 西村 治 博報堂

〔役員選挙管理委員会〕

委員長 丹羽信一 日本経済広告社
 委員 上田 周 朝日広告社

委員 鐘ヶ江輝久 とうこう・あい
 内藤好徳 内藤一水社
 中田安則 読売広告社

事業委員会

〔取引合理化委員会〕

担当理事 岩井秀一 大広
 委員長 望月 渡 電通
 委員 竹原克郎 I&S BBDO
 加藤 武 アサツー ディ・ケイ
 酒井淳三 朝日広告社
 田中友行 ジェイアール東日本企画
 野沢和彦 大広
 澁谷尚幸 東急エージェンシー
 岸 直彦 博報堂
 西岡正紀 博報堂DYホールディングス
 金銅磯美 マッキンエリクソン
 中島 均 読売広告社
 村井知哉 協会・専務理事

〔取引合理化小委員会〕

委員長 畔 大 博報堂
 委員 矢内治伸 I&S BBDO
 宇野沢史紀 アサツー ディ・ケイ
 福島淳史 朝日広告社
 新井正人 ジェイアール東日本企画
 嘉村敏美 大広
 三宅 大 電通
 市之瀬和博 東急エージェンシー
 鳴嶋吟子 博報堂DYホールディングス
 石井孝次郎 博報堂DYメディアパートナーズ
 二村 雄 マッキンエリクソン
 飯塚 了 読売広告社

〔情報システム小委員会〕

委員長 川上 勲 博報堂DYホールディングス
 副委員長 太田雅人 アサツー ディ・ケイ
 奥村卓也 電通
 委員 小松しのぶ I&S BBDO
 北原 治 朝日広告社
 近藤岳彦 オリコム
 兼清俊彦 昭通
 黒木昭一 ジェイアール東日本企画
 後藤三幸 東急エージェンシー
 坂田和也 日本経済社

委員 中嶋茂信 博報堂DYメディアパートナーズ
堀居 真 マックカンエリクソン

【ビジョン小委員会】

委員長 鈴木克明 アサツー ディ・ケイ

副委員長 喜早冬比古 電通

菅井陽司 博報堂

委員 竹原克郎 I&S BBDO

和田好弘 朝日広告社

田邊敬詞 ジェイアール東日本企画

木村俊之 大広

太田貴之 東急エージェンシー

松浦良高 マックカンエリクソン

山脇拓雄 読売広告社

【営業課題検討小委員会】

委員長 橋爪恒二郎 電通

副委員長 矢ヶ部賢善 アサツー ディ・ケイ

峯村晴夫 博報堂

委員 前田一郎 朝日広告社

塚原泰彦 ジェイアール東日本企画

山本泰弘 大広

葉山晃司 東急エージェンシー

早坂 巖 日本経済広告社

大屋亜子 マックカンエリクソン

橋本大輔 読売広告社

【メディア委員会】

担当理事 大森壽郎 博報堂DYメディアパートナーズ

委員長 山本敏博 電通

委員 松井 薫 I&S BBDO

亀井典明 アサツー ディ・ケイ

野中昭弘 朝日広告社

弓矢政法 ジェイアール東日本企画

高橋雅弘 大広

阿部芳己 東急エージェンシー

影山和憲 博報堂

宮崎育久 博報堂DYメディアパートナーズ

齋藤幸蔵 マックカンエリクソン

山路英夫 読売広告社

村井知哉 協会・専務理事

【デジタル特別委員会】

委員長 外山善太 博報堂DYメディアパートナーズ

副委員長 大川英明 アサツー ディ・ケイ

岩崎史朗 電通

委員 西田幸代 I&S BBDO

委員 野村直美 アサツー ディ・ケイ

入岡祥隆 朝日広告社

久保孝広 ジェイアール東日本企画

池上 巧 東急エージェンシー

末澤 淳 博報堂DYメディアパートナーズ

三枝一郎 マックカンエリクソン

【テレビ小委員会】

委員長 桜井徹哉 博報堂DYメディアパートナーズ

副委員長 高野與平 アサツー ディ・ケイ

高島 俊 電通

高橋宏昭 博報堂DYメディアパートナーズ

委員 山崎久樹 I&S BBDO

湯澤大介 朝日広告社

桜井 靖 ジェイアール東日本企画

尾崎 満 東急エージェンシー

中谷智子 フロンテッジ

天明 渉 マックカンエリクソン

専門委員 小松しのぶ I&S BBDO

有田圭司 アサツー ディ・ケイ

大富康正 電通

池上 巧 東急エージェンシー

外山善太 博報堂DYメディアパートナーズ

末澤 淳 博報堂DYメディアパートナーズ

【ラジオ小委員会】

委員長 大木秀幸 博報堂DYメディアパートナーズ

副委員長 南 庸子 アサツー ディ・ケイ

松本卓哉 電通

委員 須賀 学 I&S BBDO

遠藤 龍 朝日広告社

後藤伸二 クオラス

伊藤雄介 三晃社

杉浦 興 デルフィス

佐藤光浩 東急エージェンシー

戸邊雅人 マックカンエリクソン

【新聞小委員会】

委員長 東末吉史 博報堂DYメディアパートナーズ

副委員長 細野和也 アサツー ディ・ケイ

前田真一 電通

委員 山崎久樹 I&S BBDO

加藤博文 朝日広告社

平澤俊哉 東急エージェンシー

下村雅美 日本経済広告社

小島尚隆 日本経済社

佐野好市郎 マックカンエリクソン

〔雑誌小委員会〕

委員長	大井 淳司	アサツー ディ・ケイ
副委員長	岡部 道彦	電通
	月野木麻里	東急エージェンシー
	東 正之	博報堂DYメディアパートナーズ
委員	山崎 久樹	I&S BBDO
	上田 睦子	朝日広告社
	桜井 靖	ジェイアール東日本企画
	高橋 信明	デルフィス
	吉田 千史	双葉通信社
	神部 恵子	マッキンゼーエリクソン

〔交通広告小委員会〕

委員長	小野寺忠之	春光社
副委員長	菊田 真弘	NKB
委員	杉本 隆	アサツー ディ・ケイ
	岩崎 真紀	オリコム
	田草川 靖	協立広告
	古川 義夫	ジェイアール東日本企画
	阿部 晋治	電通
	那波 俊哉	東急エージェンシー
	鍋島 義博	TOMOE
	松尾 良太	博報堂DYメディアパートナーズ
	阿部 和美	メトロアドエージェンシー

〔インターネット広告小委員会〕

委員長	竹林 真人	博報堂DYメディアパートナーズ/博報堂DYデジタル
副委員長	伊達 学	サイバーエージェント
	早田 真	電通
委員	田所 太洋	I&S BBDO
	紺野 俊介	アイレップ
	柳田 建治郎	アサツー ディ・ケイ
	大城 勝浩	朝日広告社
	中野 宜幸	オプト
	岸本 暢之	オリコム
	水谷 泰之	広告社
	鈴木 雄太	セブテーニ
	田中 康寛	東急エージェンシー
	伊藤 耕	日本経済社
	金子 一秀	マッキンゼーエリクソン

〔メディア調査研究小委員会〕

委員長	牧野 聡	電通
副委員長	白土 栄次	オリコム
	桃沢 美穂子	東急エージェンシー
委員	宇野 貴子	I&S BBDO
	大沼 陽介	アサツー ディ・ケイ

委員	高橋 玲子	朝日広告社
	猪岡 昇	大広
	増野 美智子	日本経済社
	松尾 靖	博報堂
	河村 徹生	博報堂DYメディアパートナーズ
	山本 博子	マッキンゼーエリクソン
	水谷 謙一	読売広告社

【教育セミナー委員会】

担当理事	桑原 常泰	東急エージェンシー
委員長	松浦 啓子	オリコム
委員	愛甲 知己	I&S BBDO
	金澤 直也	アサツー ディ・ケイ
	雑賀 啓介	三晃社
	富川 隆	ジェイアール東日本企画
	三栗谷 信明	大広
	増子 裕介	電通
	澤田 桐智	東急エージェンシー
	門田 昌晃	日本経済社
	中馬 淳	博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ
	小岩井 由紀子	マッキンゼーエリクソン
	榎本 喜和	メトロアドエージェンシー
	高木 康志	読売広告社

〔「広告ビジネス入門」発行小委員会〕

委員長	中馬 淳	博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ
委員	高澤 正行	I&S BBDO
	戸嶋 次介	アサツー ディ・ケイ
	林 秀一	電通
	澤田 桐智	東急エージェンシー

【懸賞論文委員会】

担当理事	丹羽 信一	日本経済広告社
委員長	浜田 茂	読売広告社
委員	若月 健	I&S BBDO
	宇賀 神貴宏	アサツー ディ・ケイ
	大城 勝浩	朝日広告社
	白土 栄次	オリコム
	浅井 雅彦	クオラス
	加藤 肇	ジェイアール東日本企画
	森 一彦	大広
	喜早冬比古	電通
	福原 宏理	東急エージェンシー
	太古 益樹	日本経済広告社
	河内 茂	日本経済社
	岩崎 拓	博報堂
	鎌谷 友大	フロンテッジ

委員 半田浩和 マックカンエリクソン
戸村康則 読売エージェンシー

【海外交流委員会】

担当理事 成田純治 博報堂
委員長 杉本一夫 日本経済広告社
委員 橋本隆一 アサツー ディ・ケイ
林志摩 オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン
金澤大輔 オプト
森田尚子 ジェイ・ウォルター・トンプソン・ジャパン
小林晃 大広
横田大 電通
小泉喜由 日本経済社
小野崎健 日本広告社
高橋修 博報堂
大木美代子 マックカンエリクソン
古賀正和 読売広告社

【クリエイティブ委員会】

担当理事 中田安則 読売広告社
委員長 能登健裕 東急エージェンシー
委員 池田伸一 I&S BBDO
清水健 アサツー ディ・ケイ
橋本和人 朝日広告社
大塚靖 クオラス
尾形靖 グレイワールドワイド
長谷川聡 三晃社
金森誠 ジェイアール東日本企画
曾原剛 ジェイ・ウォルター・トンプソン・ジャパン
松元一郎 第一通信社
中村太郎 大広
古川裕也 電通
戸澤清彦 日本経済社
藤井久 博報堂
中村猪佐武 マックカンエリクソン
笠原章弘 読売広告社

【賞実行小委員会】

委員長 金森誠 ジェイアール東日本企画
委員 西村剛 I&S BBDO
園田正明 アサツー ディ・ケイ
戸田千奈 電通
篠原エリ子 博報堂
太田理奈子 読売広告社

【著作権小委員会】

委員長 小竹伸幸 博報堂

委員 高橋俊治 I&S BBDO
平野康子 アサツー ディ・ケイ
寺林憲宏 大広
渡部秀人 電通
中西開 電通
村田佳與子 博報堂
森村芳永 博報堂DYメディアパートナーズ
木村知生 マックカンエリクソン
内藤圭二 読売広告社

【制作取引小委員会】

委員長 沼澤忍 電通
副委員長 寺坂要一 アサツー ディ・ケイ
淵辺穰 博報堂
委員 谷口裕信 I&S BBDO
佐藤和人 アサツー ディ・ケイ
大塚靖 クオラス
宮川貫治 グレイワールドワイド
長谷川聡 三晃社
金森誠 ジェイアール東日本企画
中村太郎 大広
岩崎史朗 電通
柚原武明 東急エージェンシー
田中斉 東急エージェンシー
河野直之 日本経済社
山本貴美子 博報堂
小竹伸幸 博報堂
永浦利康 博報堂
西森聡 マックカンエリクソン
上田剛司 読売広告社

【PR委員会】

担当理事 鐘ヶ江輝久 とうこう・あい
委員長 飯島康裕 電通ヤング・アンド・ルビカム
委員 小田島薫 I&S BBDO
中島香 アサツー ディ・ケイ
和田好弘 朝日広告社
長谷川千春 大広
斎藤浩 電通
西村大輔 東急エージェンシー
有馬昌昭 日本経済社
足立光弘 博報堂
山崎正道 博報堂DYメディアパートナーズ
大木美代子 マックカンエリクソン

【「広告の機能と役割」研究小委員会】

委員長 松本順 マックカンエリクソン

副委員長 田口 仁 アサツー ディ・ケイ
 長 沢 朋 哉 電通ヤング・アンド・ルビカム
 委 員 板 川 昌 弘 I&S BBDO
 成 田 聡 朝日広告社
 西 村 泉 大広
 村 越 力 電通
 清 水 徹 東急エージェンシー
 河 内 茂 日本経済社
 大美賀秀治 博報堂

【ホームページ管理小委員会】

委員長 飯 島 康 裕 電通ヤング・アンド・ルビカム
 委 員 田 所 太 洋 I&S BBDO
 山 崎 恭 彦 アサツー ディ・ケイ
 木 下 浩 二 電通
 有 馬 昌 昭 日本経済社

【会報編集委員会】

担当理事 内 藤 好 徳 内藤一水社
 委員長 安 齊 昇 昭通
 委 員 高 澤 正 行 I&S BBDO
 鳴 原 透 アイブラネット
 雄 鹿 郁 夫 アサツー ディ・ケイ
 大 塚 実 ジェイアール東日本企画
 石 川 芳 人 ジェイ・ウォルター・トンプソン・ジャパン
 長 谷 川 千 春 大広
 丹 野 和 生 電通
 高 橋 庸 江 東急エージェンシー
 加 藤 進 久 日本広告社
 岩 代 孝 之 博報堂
 乗 杉 直 哉 読売広告社

【広告問題研究委員会】

担当理事 神 田 橋 治 TOMOE
 委員長 北 原 利 行 電通
 委 員 石 田 心 平 アサツー ディ・ケイ
 池 田 正 明 朝日広告社
 福 井 淳 一 郎 大広
 永 江 禎 電通
 近 藤 康 之 東急エージェンシー
 喜 藤 昌 美 内藤一水社
 柳 本 英 樹 博報堂
 樋 口 友 子 博報堂DYメディアパートナーズ
 松 本 武 士 マッキンゼーエリクソン
 門 脇 匡 読売広告社

【環境小委員会】

委員長 川 谷 愛 作 博報堂
 委 員 中 村 由 美 子 アサツー ディ・ケイ
 高 城 佐 知 子 廣告社
 井 上 理 子 ジェイアール東日本企画
 鶴 貝 哲 夫 大広
 木 下 浩 二 電通
 高 橋 研 東急エージェンシー
 大 堀 須 美 子 フロンテッジ
 簗 野 有 紀 子 マッキンゼーエリクソン
 耕 作 清 光 読売広告社

平成28年度

会務概記

<平成28年>

4月 4日	著作権小委員会・制作取引小委員会合同委員会	23日	情報システム小委員会
5日～8日	第44回新入社員教育セミナー	27日	PR委員会
12日	「広告の機能と役割」研究小委員会 会計検査	28日	インターネット広告小委員会 テレビ小委員会
13日	監査	7月 5日	運営委員会
15日	財務委員会 懸賞論文委員会	6日	第75回JAAAクリエイティブ研究会
19日	運営委員会	7日	取引合理化小委員会
20日	日本音楽著作権協会 説明会 ラジオ小委員会 第18回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」	8日	新聞小委員会
21日	アジア広告業協会連盟 理事会・年次総会 「広告の機能と役割」研究小委員会	11日	教育セミナー委員会
22日	テレビ小委員会	12日	第293回理事会
25日	「広告の機能と役割」研究小委員会	13日	「第46回懸賞論文」エントリー説明会
26日	第291回理事会	14日	ラジオ小委員会
27日	環境小委員会 デジタル特別委員会	15日	メディア調査研究小委員会
28日	全国広告業団体連絡会議・平成27年度後期 情報連絡会	19日	海外交流委員会 営業課題検討小委員会
5月13日	ラジオ小委員会	21日	第43回海外広告研修団 第1回事前研修会
16日	海外交流委員会 「広告の機能と役割」研究小委員会	22日	制作取引小委員会
20日	情報システム小委員会	25日	テレビ小委員会 「広告の機能と役割」研究小委員会セミナー
24日	テレビ小委員会	26日	ビジョン小委員会
25日	第19回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」	27日	テレビ広告懇談会
27日	会報編集委員会	28日	第59回名広協クリエイティブ研究会
31日	平成28年度定時総会／第292回理事会	29日	情報システム小委員会 広告法務セミナー
6月 2日	ビジョン小委員会	8月 2日	交通広告小委員会
7日	「広告の機能と役割」研究小委員会	3日	教育セミナー委員会 会報編集委員会 入会資格審査委員会
9日	雑誌小委員会・メディア調査研究小委員会 合同委員会 雑誌小委員会 メディア調査研究小委員会 ラジオ小委員会	5日	環境小委員会 大阪・広告法務セミナー
16日	第20回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」	9日	ラジオ小委員会
21日	「広告の機能と役割」研究小委員会	10日	デジタル特別委員会
		25日	インターネット広告小委員会
		26日	ISO14001改訂説明会
		29日	テレビ小委員会 メディア調査研究小委員会
		30日	著作権小委員会
		31日	ラジオ小委員会
		9月 1日	アジア広告業協会連盟 理事会/東京
		2日	営業課題検討小委員会

5日	広告・報道関係8団体連絡会 広告問題研究委員会	25日	海外交流委員会 第43回海外広告研修団帰国報告会
6日	運営委員会 スパイクス アジア2016研修ツアー 説明会	26日	監査 「広告の機能と役割」研究小委員会
8日	メディア委員会	27日	ラジオ小委員会
9日	法務委員会 取引合理化委員会	28日	情報システム小委員会 テレビ小委員会
12日	第43回海外広告研修団 第2回事前研修会	11月 1日	交通広告小委員会セミナー
13日	第294回理事会 ラジオ小委員会	7日	デジタル特別委員会
14日	会報編集委員会 字幕付きCM普及推進協議会 第2回運営委員会 第21回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」	8日	運営委員会
16日	「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」説明会 賞実行小委員会	10日	「広告の機能と役割」研究小委員会 第34回JAAAクリエイティブ研究会・福岡
20日	「スパイクスアジア2016」研修ツアー 出発	14日	会報編集委員会
23日	第34回HAAAクリエイティブ研究会	15日～16日	第22回フォローアップセミナー
24日	「スパイクスアジア2016」研修ツアー 帰国	15日	第295回理事会
25日	第43回海外広告研修団 出発	17日	クリエイティブ委員会 Bグループ審査会
28日	テレビ小委員会	18日	懸賞論文Cグループ審査会、Dグループ審査会 京都クリエイティブトーク2016
29日	取引合理化小委員会	21日	第4回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」第一次審査会
30日	情報システム小委員会	22日	テレビ小委員会 ラジオ小委員会 懸賞論文Aグループ審査会
10月 3日	ラジオ小委員会 第43回海外広告研修団 帰国	28日	CM表現クレーム対応セミナー
5日	「広告の機能と役割」研究小委員会 環境小委員会	12月 2日	吉田秀雄記念賞選考委員会
6日	PR委員会	8日	教育セミナー委員会 第4回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」第二次審査会
7日	全国広告業団体連絡会議 (平成28年度 前期情報連絡会 理事会・通常総会)	9日	第30回「広告と人権セミナー」
12日	入会資格審査委員会 「広告会社のための下請法ガイドブック」改訂版説明会	12日	平成28年度会員代表者懇談会
14日	第14回SAAAクリエイティブ研究会 (三島) 懸賞論文委員会	14日	英語学習法セミナー
17日	新聞小委員会	15日	情報システム小委員会
20日	新聞小委員会・日本新聞協会「広告常任委員会」意見交換会	16日	インターネット広告小委員会 新聞小委員会 デジタル特別委員会
21日	インターネット広告小委員会	20日	テレビ小委員会 特別委員会(仮称) 取引合理化小委員会
24日	会計検査 クリエイティブ委員会	21日	第4回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」最終審査
		22日	ラジオ小委員会 PR委員会

28日	仕事納め	審査会
<平成29年>		クリエイティブ委員会
1月 5日	仕事始め	28日 財務委員会
6日	平成29年広告界合同年賀会	3月 1日 第76回JAAAクリエイティブ研究会
10日	懸賞論文Dグループ審査会、Cグループ審査会 メディア調査研究小委員会	2日(～3日) 懸賞論文最終審査会 「JAC/JPPA テレビCMオンライン運用開始に関する情報共有セミナー」
11日	懸賞論文Bグループ審査会、Aグループ審査会	3日 懸賞論文委員会
12日	ビジョン小委員会	6日 交通広告小委員会
13日	特別委員会(仮称)	広告問題研究委員会
16日	「広告の機能と役割」研究小委員会 第22回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」 営業課題検討小委員会	7日 ラジオCMオンライン運用説明会(東京) 運営委員会
17日	テレビ小委員会	8日 第45回新入社員教育セミナー講師打ち合わせ会 教育セミナー委員会
18日	雑誌小委員会 ラジオ小委員会 テレビ広告懇談会	第23回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」 「独立U局 テレビCMオンライン運用開始に関する情報共有セミナー」
19日	交通広告小委員会 会報編集委員会	「広告の機能と役割」研究小委員会
20日	「テレビCMオンライン運用開始に関する情報共有セミナー」(大阪)	13日 テレビ小委員会
23日	環境小委員会 取引合理化委員会	14日 ラジオCMオンライン運用説明会(大阪) 第297回理事会 記者発表会
24日	PR委員会 吉田秀雄記念賞選考委員会 メディア委員会	16日 メディア調査研究小委員会 法務委員会
25日	海外交流委員会	17日 ラジオCMオンライン運用説明会(名古屋) 「広告の機能と役割」研究小委員会
26日	著作権小委員会	21日 ラジオ小委員会
31日	運営委員会	22日 入会資格審査委員会
2月 7日	第296回理事会 役員選挙管理委員会	23日 第3回「インターネット広告・基本セミナー」
8日	賞実行小委員会 デジタル特別委員会 「広告の機能と役割」研究小委員会	29日 海外交流委員会
13日	「テレビCMオンライン運用開始に関する情報共有セミナー」(名古屋)	30日 正副理事長「特別委員会」
14日	テレビ小委員会	31日 会報編集委員会 「広告の機能と役割」研究小委員会
15日	インターネット広告小委員会	
16日	正副理事長直轄「特別委員会」	
21日	制作取引小委員会	
22日	ラジオ小委員会	
24日	2016年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞	